

CARTA

HOLDINGS

NEW JOURNEY, NEW STANDARD

—— 2019年12月期 ——

第3四半期 決算説明資料

2019年8月6日

東証一部：3688



AGENDA

P.02 会社概要

P.08 会計上の留意事項

P.14 2019年12月期
第3四半期連結決算の概要

P.21 連結業績予想と進捗

P.25 主要事業の概況

P.49 参考資料



03 経営統合について

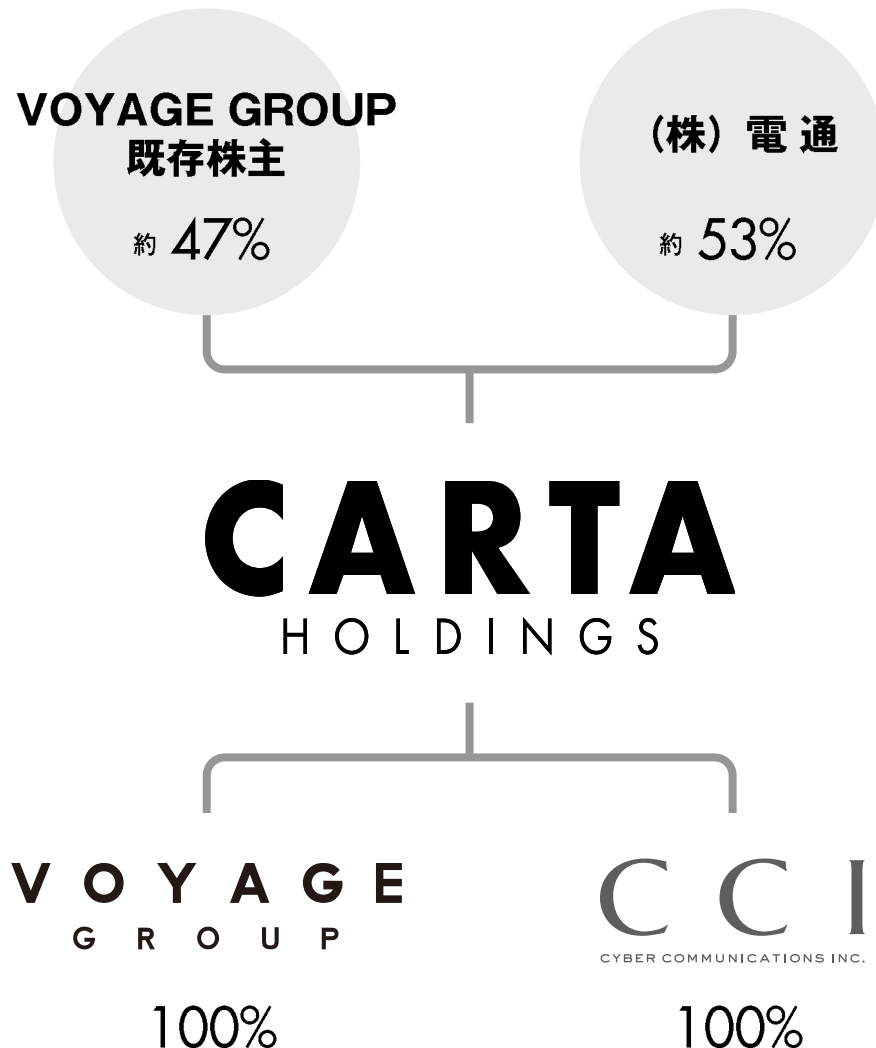
CARTA HOLDINGSは、
2019年1月に東証一部上場企業である
VOYAGE GROUPと
電通100%子会社の
サイバー・コミュニケーションズ (CCI) が
経営統合してできた持株会社です。

[VOYAGE GROUP]

アドプラットフォーム事業を中心に幅広く事業展開。
テクノロジーや事業開発力が強み。

[CCI]

デジタル広告のメディアレップ事業を中心に事業展開。
強い顧客基盤が特徴。

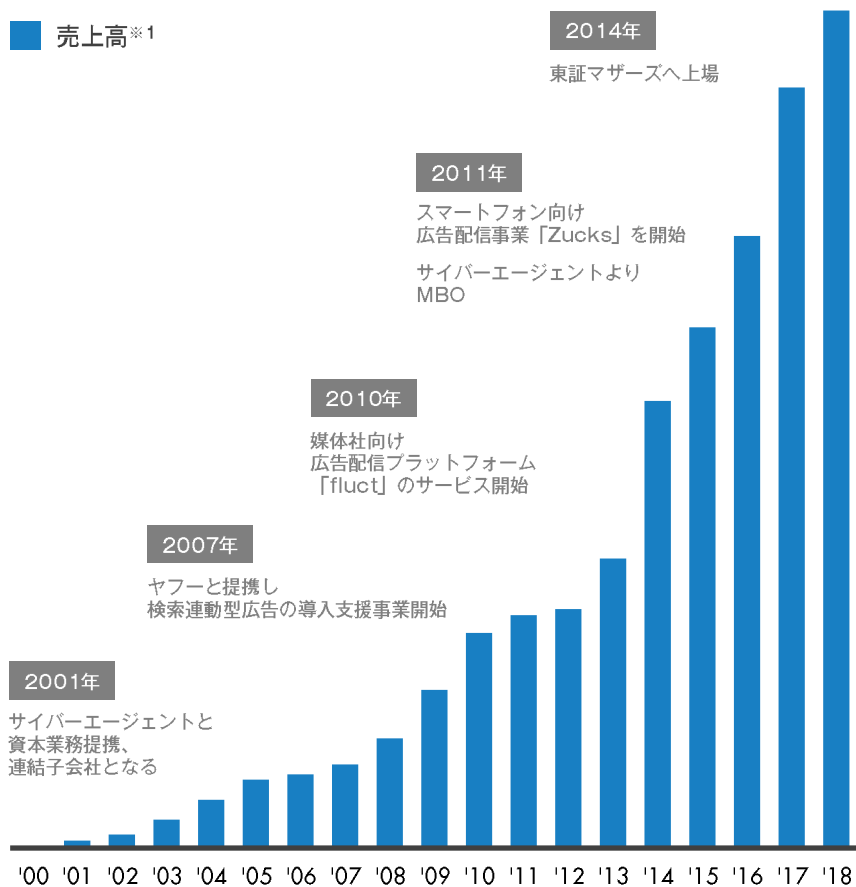


04 事業成長の歴史

VOYAGE GROUP

様々なインターネット関連事業を展開
2012年以降はアドテクノロジー事業が大きく成長

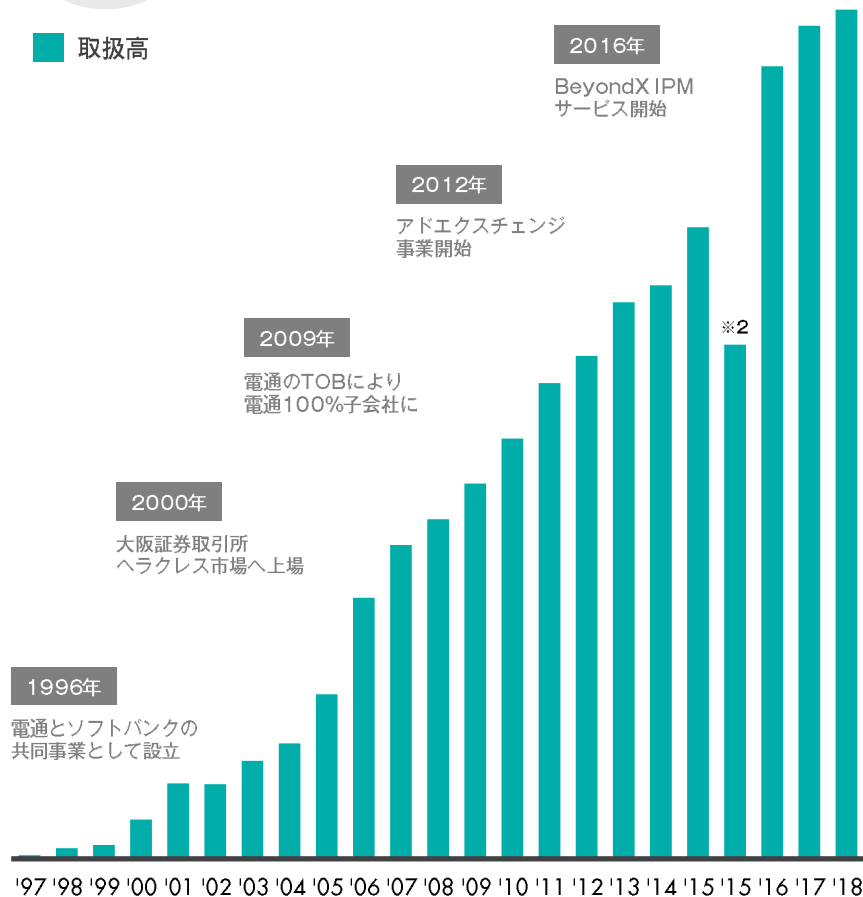
売上高※1



CCI
CYBER COMMUNICATIONS INC.

メディアレップとしてヤフーなどの
予約型広告の販売を中心に事業成長を実現

取扱高



※1 新収益認識基準（詳細は11ページを参照）を適用する前の gross 計上ベースの売上高
 ※2 CCIの2015年12月期は3月期から12月期への決算期変更に伴う9ヶ月間の変則決算

ネット広告市場において 業界をリードする圧倒的な存在に

インター
ネット



広告



CARTA
HOLDINGS

インターネット業界から見える広告の世界、広告業界から見えるインターネットの世界、
CARTA HOLDINGSだからこそ両方からアプローチができる。

まずは、ネット広告市場において業界をリードする圧倒的な存在に。

もちろんその周辺領域においてもチャンスは逃さずに。

「3つの強み」をベースに
様々な事業やサービスを展開

強い顧客基盤

- 国内外の大手WEB・アプリメディア / 広告会社
- のべ、1,000万会員以上を抱える自社メディアなど

テクノロジー

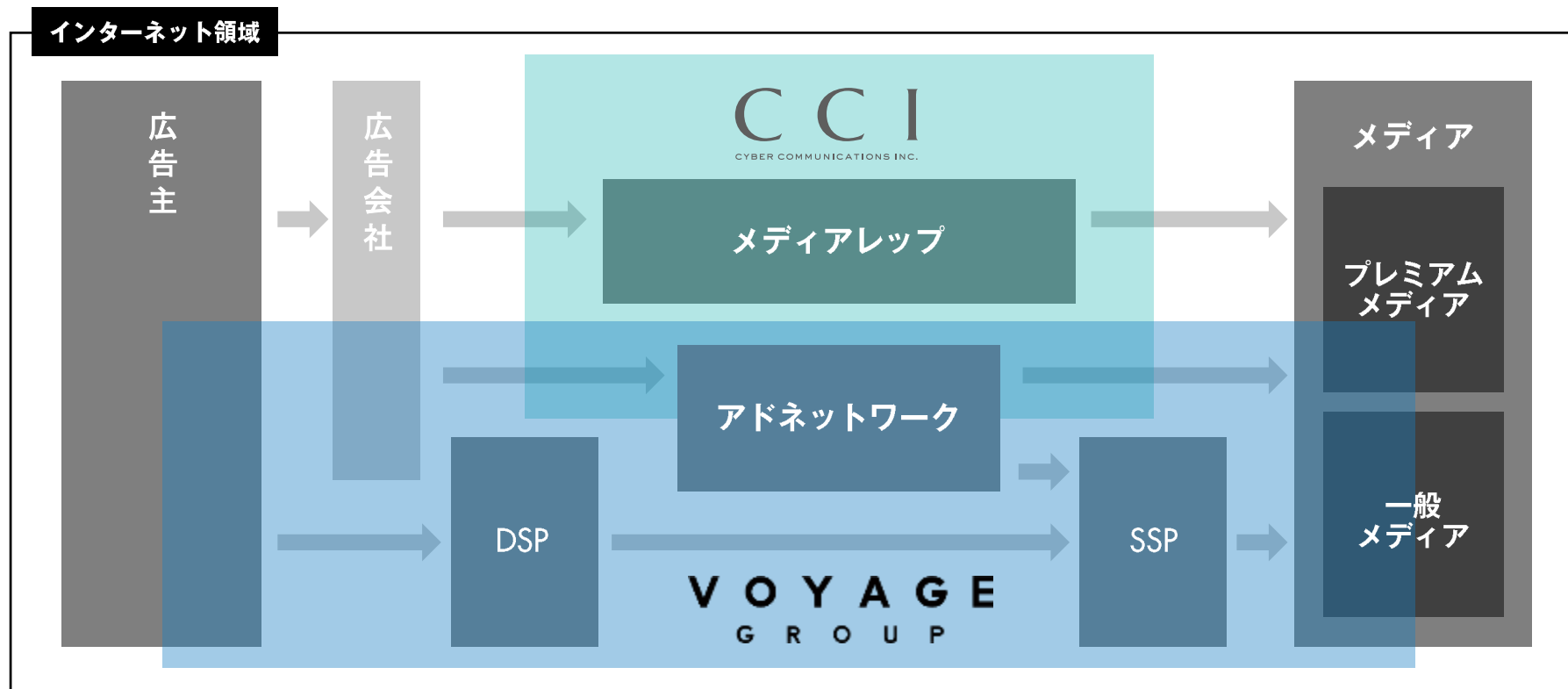
- 数百億imp/月の広告を安定的に配信する技術基盤
- 日々蓄積されるビッグデータをAI（人工知能）を活用して分析など

事業開発力

- ものづくり志向で創業以来100以上の事業 / サービスをつくってきた実績
- 事業 / サービスのエグゼキューション
- グループ内に150人以上の優秀なエンジニア / デザイナーなど

07 事業領域

インターネット広告領域において川上から川下まで幅広く展開
デジタル化が今後急速に進んでいくテレビ広告やDOOH※などにも事業領域を広げていく



将来的にテレビ広告やDOOH領域へ事業領域を拡大

※ DOOHとはDigital Out Of Homeの頭文字をとったものであり屋外デジタル広告を指す。

AGENDA

P.02 会社概要

P.08 会計上の留意事項

P.14 2019年12月期
第3四半期連結決算の概要

P.21 連結業績予想と進捗

P.25 主要事業の概況

P.49 参考資料



09 ① 決算期変更に伴う15ヶ月変則決算

12月期への決算期変更の経過措置として2019年度は15ヶ月間の変則決算となる

	2018年 7~9月	10~12月	2019年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
9月決算 (変更前)	2018年 9月期	2019年9月期				2020年 9月期
12月決算 (変更後)	2018年 9月期	2019年12月期 (15ヶ月決算)				

10 ②事業セグメントの見直し

第2四半期決算より事業セグメントを下記の通りに見直し

	事業内容	事業セグメント (経営統合前)	事業セグメント (経営統合後)
CCI	メディアレップ、 人材派遣・業務委託など	—	パートナーセールス事業
	Beyond X、PMPなど	—	アドプラットフォーム事業
VOYAGE GROUP	Zucks、fluct、CMerTVなど	アドプラットフォーム事業	コンシューマー事業
	ECナビ、PeX、 リサーチパネル	ポイントメディア事業	
	EC、FinTech、HRなど	インキュベーション事業	
	VOYAGE VENTURESなど		

1 1 ③収益認識に関する会計基準の早期適用

2021年4月以降適用が予定されている収益認識に関する会計基準^{※1}を
第2四半期決算より早期適用^{※2}

事業セグメント	取引内容	収益認識基準 (変更前)	収益認識基準 (変更後)
パートナーセールス 事業	メディアレップなど	グロス計上	ネット計上
	人材派遣・業務委託	グロス計上	変更なし
アドプラットフォーム 事業	全て	グロス計上 (一部ネット計上)	ネット計上
コンシューマー 事業	VM社ポイント交換・オンデマンド ギフト・ギブピー	グロス計上	ネット計上
	上記以外	グロス計上 (一部ネット計上)	変更なし

※1 企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」

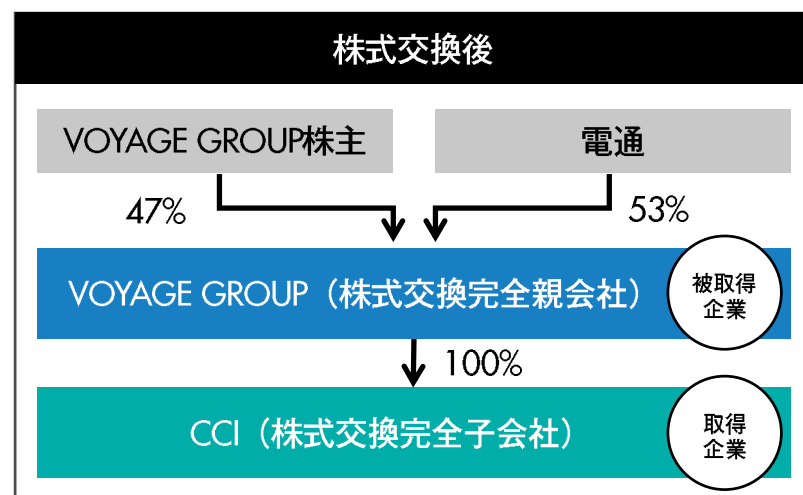
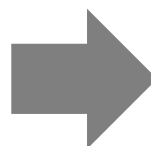
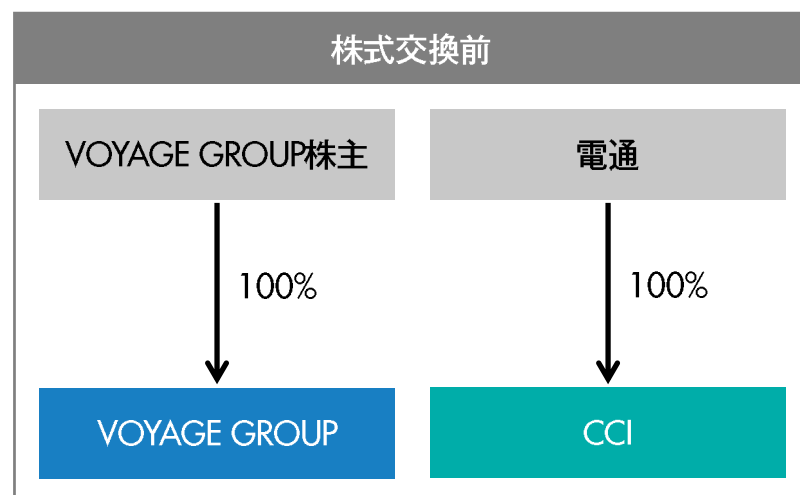
※2 原則適用は2021年4月1日以後開始する連結会計年度及び事業年度の期首から（当社グループの場合は2022年1月から強制適用）

12 ④ 逆取得の会計処理の適用

本経営統合は逆取得の会計処理が適用されるため、
第2四半期決算以降、第1四半期の損益計算書にはCCIの業績を反映

	第1四半期 2018年10月～12月	第2四半期 2019年1月～3月	第3四半期 2019年4月～6月	第4四半期 2019年7月～9月	第5四半期 2019年10月～12月
VOYAGE GROUP	第1四半期 決算発表の対象	CARTA HOLDINGS (第2四半期決算以降の対象)			
CCI	第2四半期以降 決算発表の対象				

※逆取得の会計処理：株式交換後にCCIの株主である電通が、VOYAGE GROUPの議決権の過半数を保有することから、会社法上の株式交換完全子会社であるCCIを企業結合会計上では取得企業とする処理のこと



13 ⑤ 経営統合に伴う無形資産及びのれんの計上について

本経営統合に際するPPA※1の結果、約64.5億円の無形資産及びのれんを計上
10年間での定額償却により、年間約6.5億円※2の償却費が発生

(単位：百万円)

資産項目	金額
無形資産 ポイントメディアの商標権	812
無形資産 アドプラットフォームの技術関連資産	2,470
のれん※3	3,177
合計	6,459
(年間償却金額)	645

※1 PPA (Purchase Price Allocation) : 買収時に発生する購入価額と純資産との差額を、資産項目別に評価し直す手続きのこと

※2 経営統合前にVOYAGE GROUPで計上されていたのれんの償却費が年間約2億円あったため、純増では年間約4.5億円

※3 経営統合前にVOYAGE GROUPで計上されていたのれんの再評価分も含む

AGENDA

- P.02 会社概要
- P.08 会計上の留意事項
- P.14** 2019年12月期
第3四半期連結決算の概要
- P.21 連結業績予想と進捗
- P.25 主要事業の概況
- P.49 参考資料



15 2019年12月期第3四半期 業績

CCIとの経営統合により前年同四半期比で売上総利益は大幅に増加、営業利益はほぼ同程度に一方で両社合算数値の前年同四半期比は売上総利益3.0%増、営業利益59.2%減

2019年12月期第3四半期 (2019年4月～6月)					
(単位：百万円)	実績	前年同四半期※1		前年同四半期 (両社の合算数値※2)	
		実績	増減率	実績	増減率
売上高	4,889	2,507	+95.0%	4,925	-0.7%
売上総利益	4,356	2,038	+113.7%	4,228	+3.0%
販売管理費	4,043	1,724	+134.5%	3,462	+16.8%
営業利益	312	314	-0.5%	766	-59.2%
経常利益	309	295	+4.6%	757	-59.2%
当期純利益	48	530	-90.9%	850	-94.3%
EBITDA※3	379	980	-61.3%	1,523	-75.1%

※1 新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPの数値（監査対象外）

※2 比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

※3 EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）＝税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋償却費＋のれん償却費

16 中期経営計画における「重点的な取り組み」の進捗

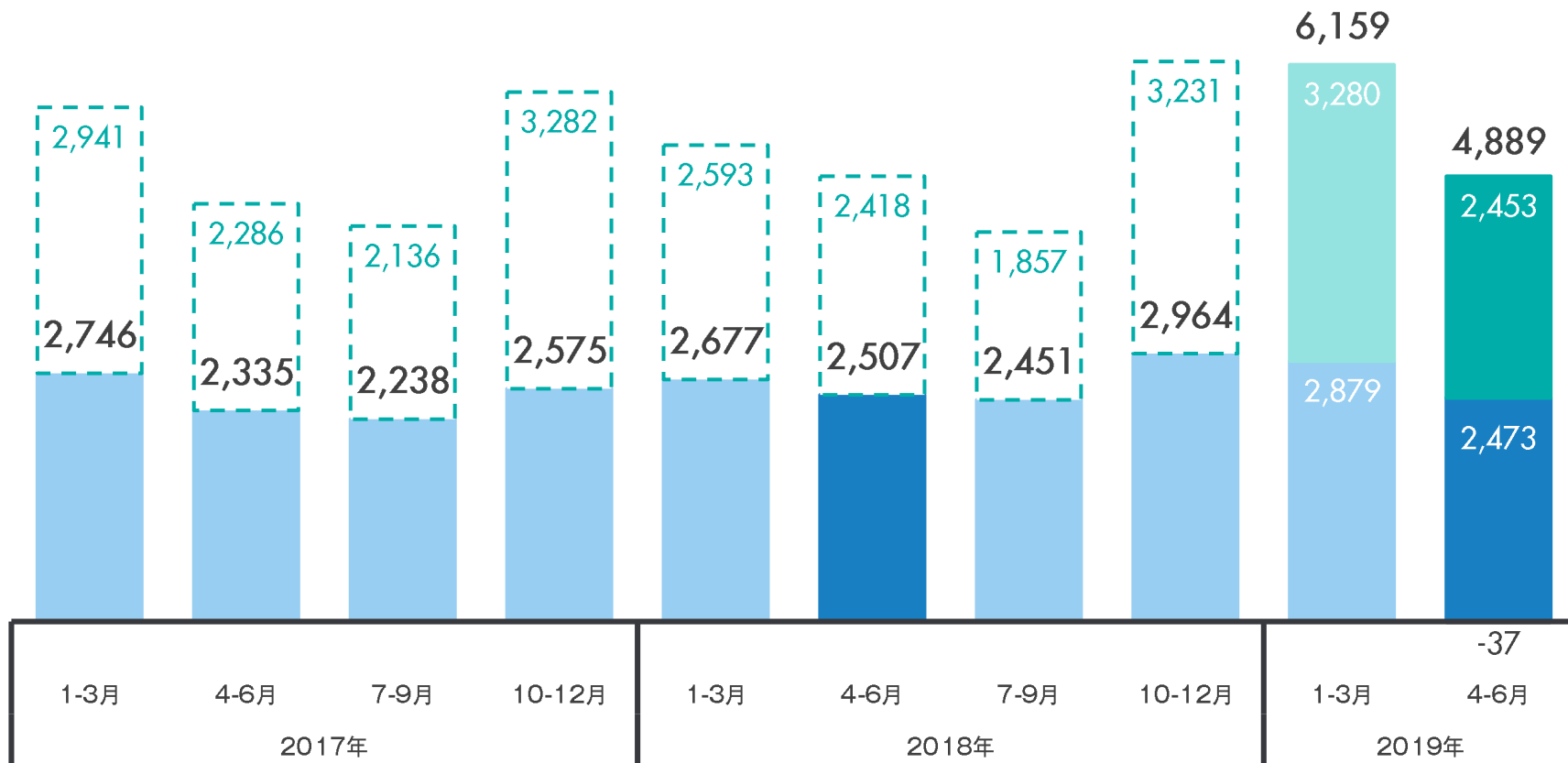
重点的な取り組み	プロジェクト	進捗状況	業績への貢献時期
事業シナジーの推進	ブランド広告向けアドプラットフォーム「PORTO」の開発	4月に商品リリース、機能改善を継続。販売額は徐々に上向き	2020年度以降
	メディアリクルーティングの連携	7月よりメディアリクルーティングの共同プロジェクト始動	直接的影響はなし
	クロスセルの強化（グループ媒体/グループプラットフォームの広告販売の強化）	7月よりVOYAGE GROUPの広告営業チームがCCIに常駐開始。9月より電通デジタルへ常駐開始予定	2019年7月以降
電通グループとの協業推進	日本初となるオーディオプログラマティックアドネットワーク「Premium Audio広告」の共同開発	5月プレスリリース後、販売開始	2020年度以降
	オフライン広告のプログラマティック化	複数のプロジェクトが進行中	2020年度以降
	両社のデータ資産の連携	分析・広告配信における活用のため、データ連携を準備中	直接的な影響はなし
経営基盤の強化	ファイナンス領域における共通基盤の整備	2020年度の予算からは新管理会計の仕組みが運用できるように両社の管理会計の仕組みを整備中	直接的な影響はなし
	情報システム領域における共通基盤の整備	クラウドコンピューティング分野などでの共通仕入れによるコスト削減を推進	コスト削減効果は2019年11月以降
	組織・人事領域における共通基盤の整備	CARTA HOLDINGSとしての人事・組織に関する基本原則を策定中	直接的な影響はなし

17 連結売上高 四半期推移

前年同四半期比で95.0%増の48.8億円

単位：百万円

■ VOYAGE GROUP売上高
 ■ CCI売上高
 □ 経営統合以前のCCI売上高
 連結相殺



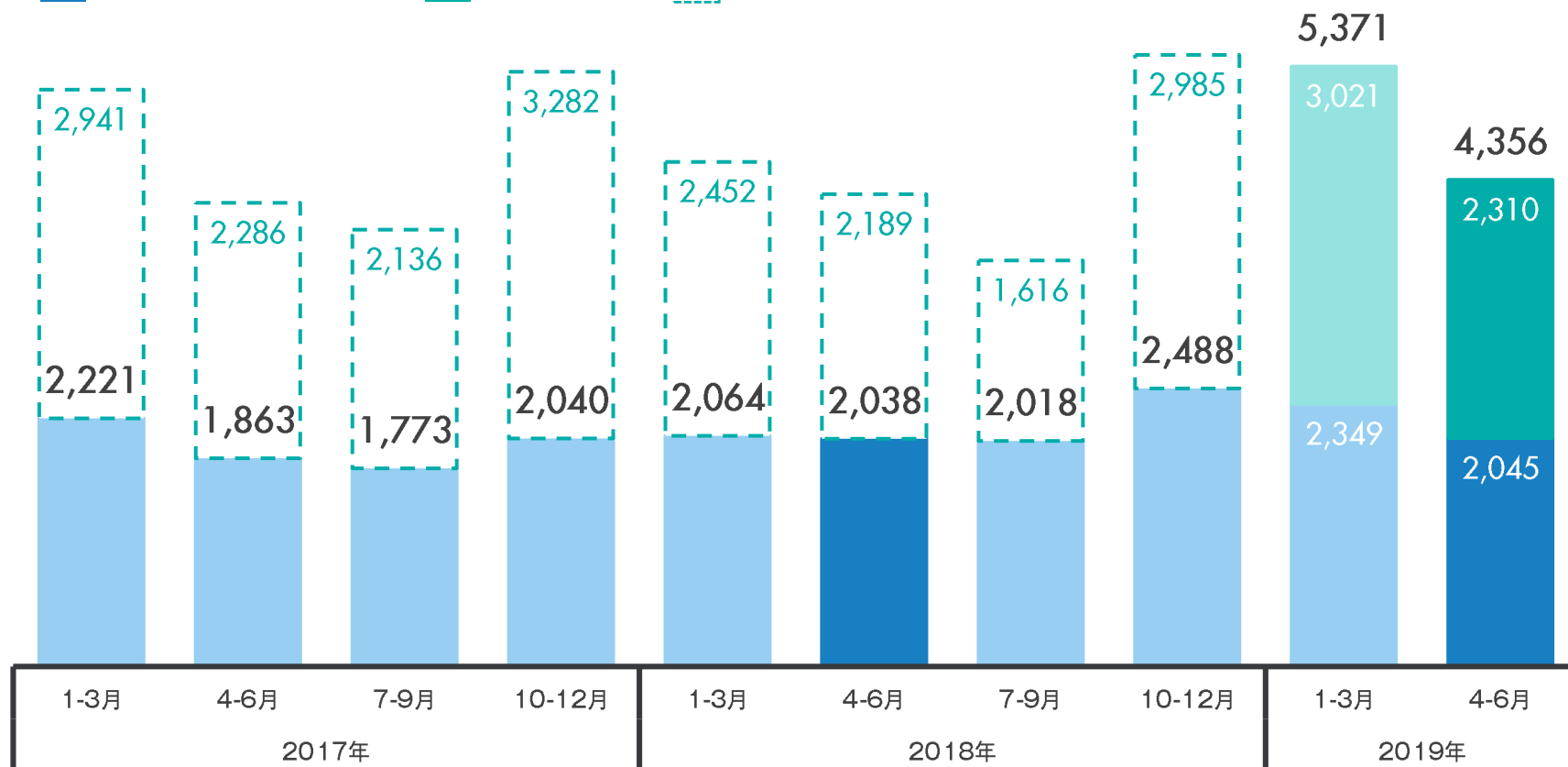
※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUP及びCCIの数値（監査対象外）

18 連結売上総利益 四半期推移

前年同四半期比で113.7%増の43.5億円
両社の合算数値との比較では売上総利益率の向上により3.0%増に

単位：百万円

■ VOYAGE GROUP売上総利益
 ■ CCI売上総利益
 □ 経営統合以前のCCI売上総利益



※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUP及びCCIの数値（監査対象外）

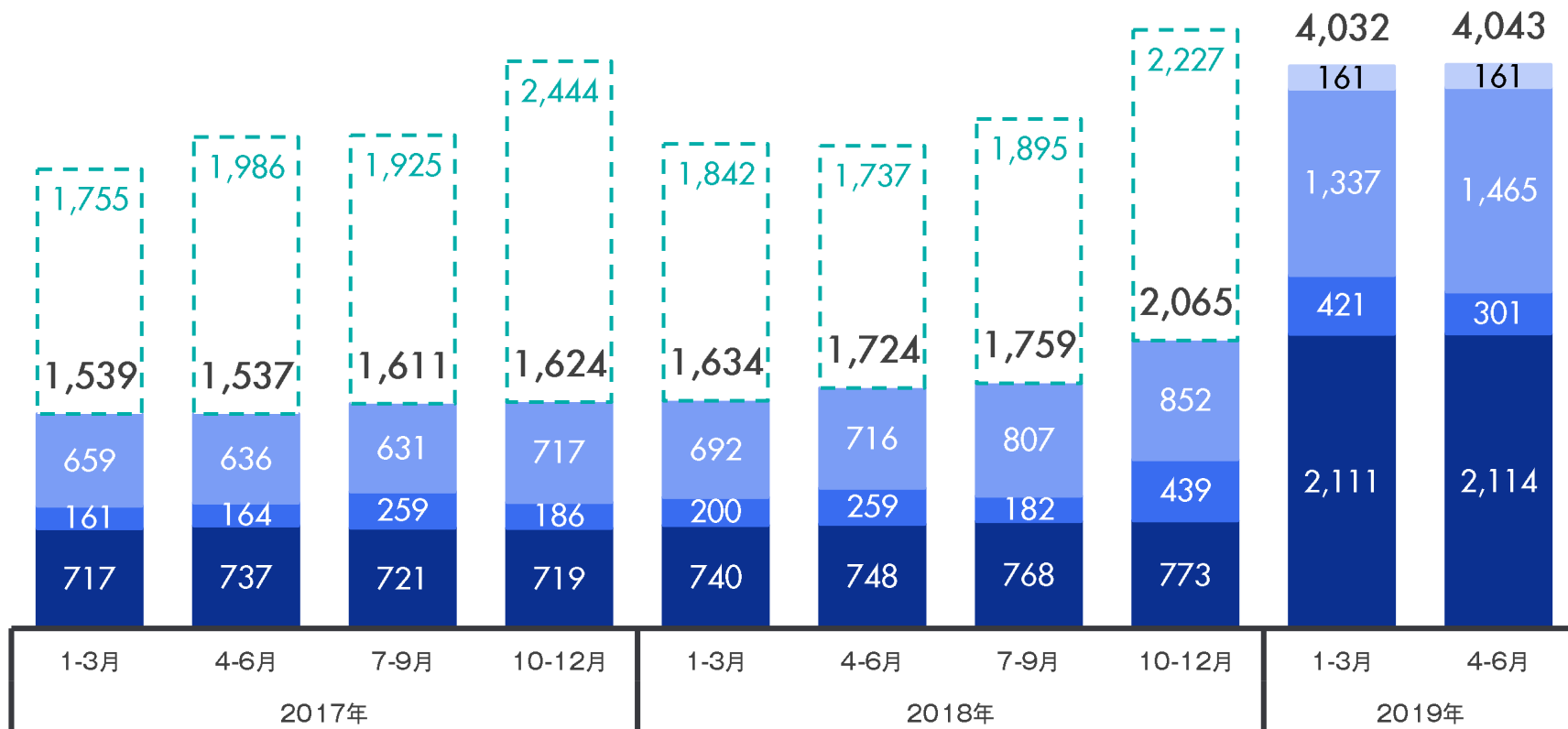
19 連結販売管理費 四半期推移

前年同四半期比で134.5%増の40.4億円

前四半期比ではオフィス移転等による増加があったものの、全体では横ばい

単位：百万円

■ 人件費
 ■ 広告宣伝費及び販売管理費
 ■ その他
 ■ 経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費
 経営統合以前のCCI販売管理費



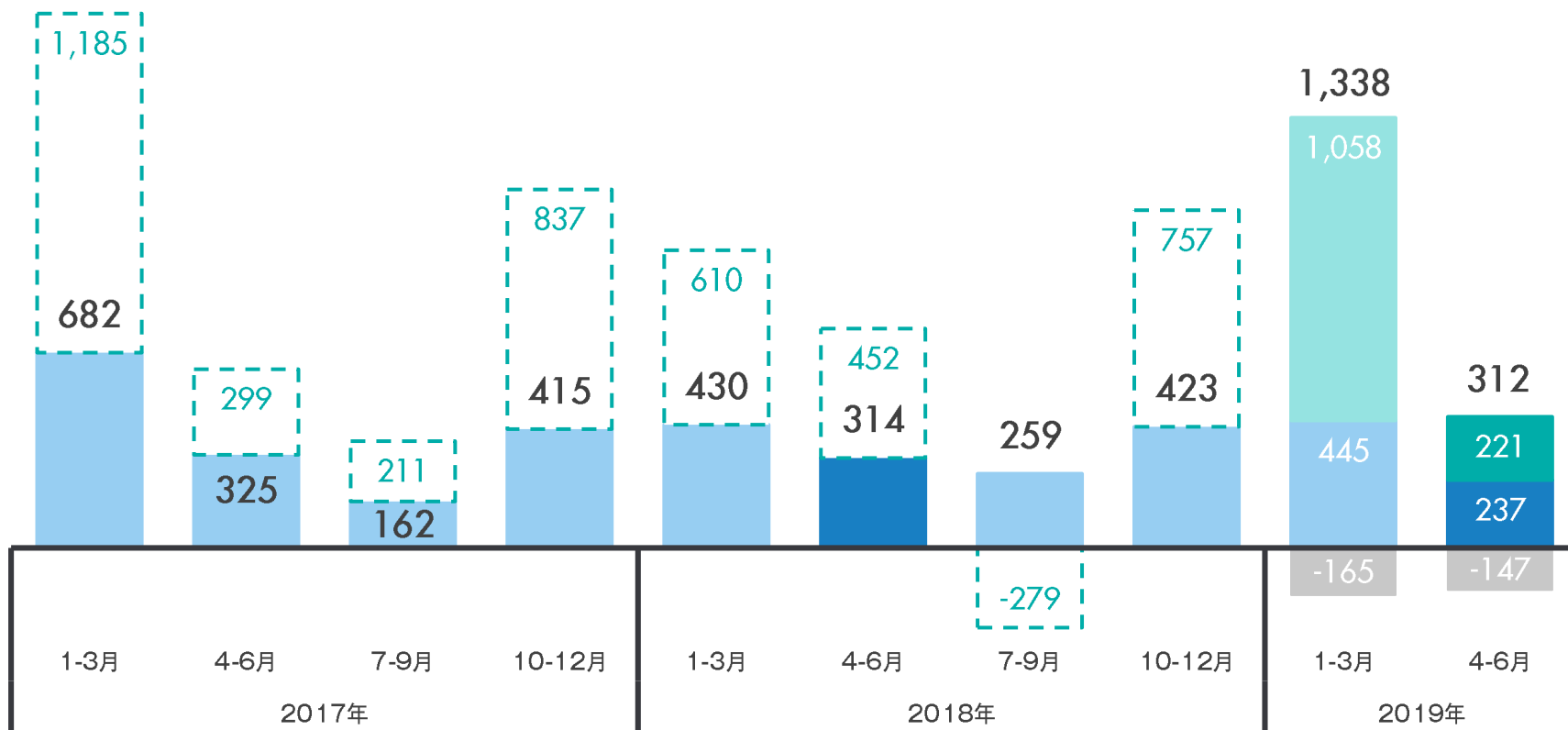
※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUP及びCCIの数値（監査対象外）

20 連結営業利益 四半期推移

前年同四半期比とほぼ同額の3.1億円に

単位：百万円

■ VOYAGE GROUP営業利益
 ■ CCI営業利益
 経営統合以前のCCI営業利益
 経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費等



※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUP及びCCIの数値（監査対象外）

AGENDA

- P.02 会社概要
- P.08 会計上の留意事項
- P.14 2019年12月期
第3四半期連結決算の概要
- P.21** 連結業績予想と進捗
- P.25 主要事業の概況
- P.49 参考資料



22 2019年12月期通期 連結業績予想

	第1四半期 2018年10月～12月	第2四半期 2019年1月～3月	第3四半期 2019年4月～6月	第4四半期 2019年7月～9月	第5四半期 2019年10月～12月
VOYAGE GROUP		CARTA HOLDINGS			
CCI	①				

(単位：百万円)	①第1四半期実績 2018年10月～12月※1	②第2～5四半期予想		③通期予想 2018年10月～2019年12月
		2019年1月～12月	(参考) 前年実績※2 2018年1月～12月	
売上高	3,231	22,769	20,991	26,000
営業利益	757	1,743	2,968	2,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	516	1,084	2,211	1,600
EBITDA※3	843	3,057	4,302	3,900

※1 新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したCCIの数値

※2 比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

※3 EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）＝税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋償却費＋のれん償却費

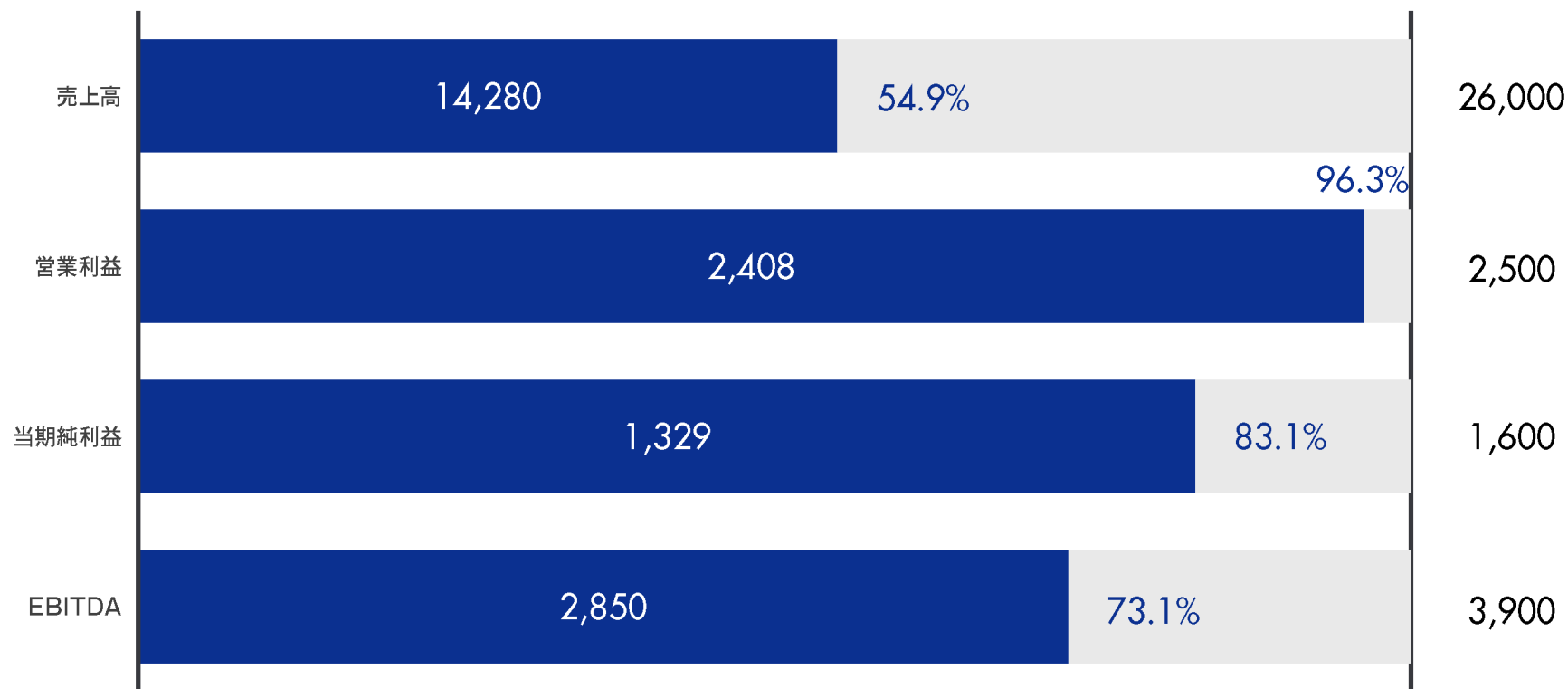
23 2019年12月期通期 連結業績予想に対する進捗

順調に進捗しているためコンシューマー事業において戦略的な広告宣伝費を追加投入する見込みであること、また季節要因による変動等があることから業績予想は据え置き

単位：百万円

3Q累計進捗率

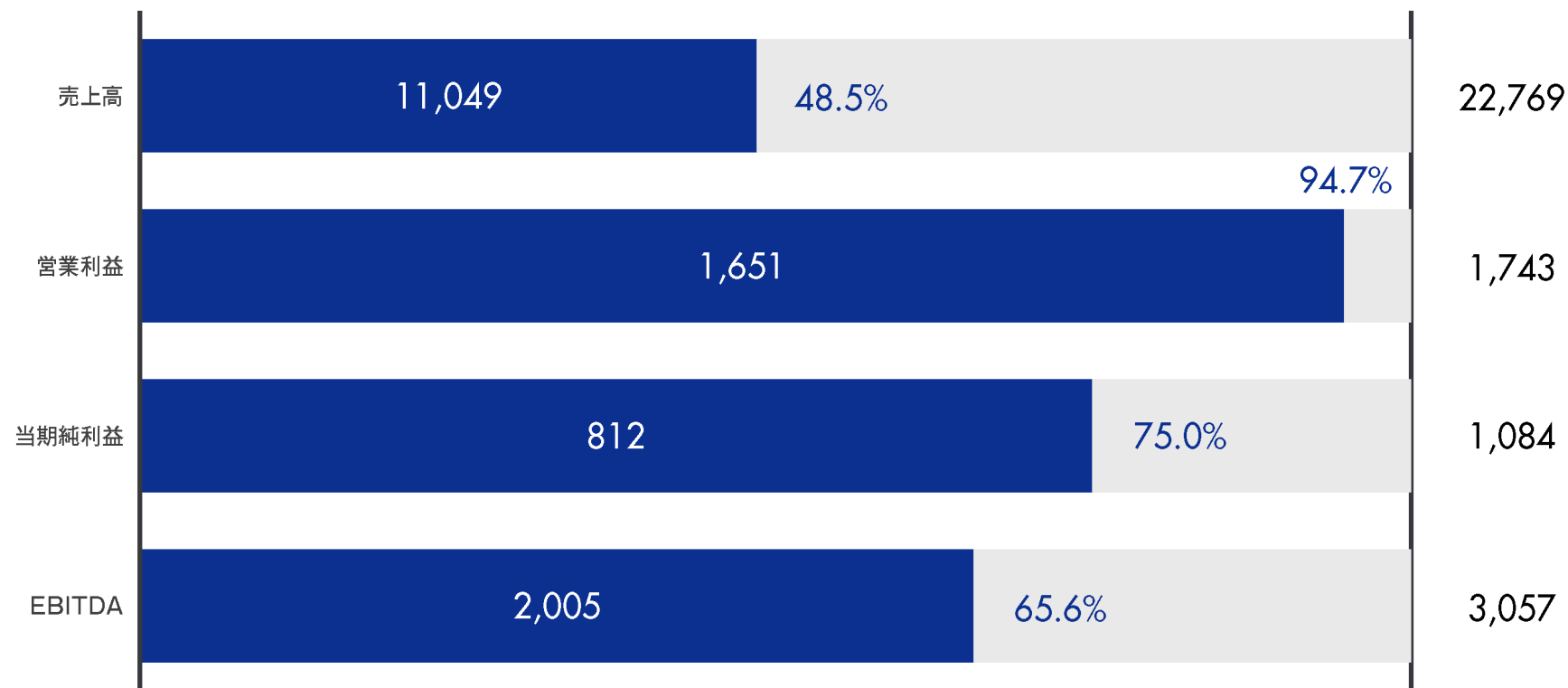
2019年12月期
通期業績予想



全指標において順調に進捗

単位：百万円

1～6月進捗率

2019年12ヶ月
換算業績予想※

※ 15ヶ月間の変則決算である2019年12月期通期業績予想のうち、2019年1～12月の12ヶ月分の業績予想となります

AGENDA

- P.02 会社概要
- P.08 会計上の留意事項
- P.14 2019年12月期
第3四半期連結決算の概要
- P.21 連結業績予想と進捗
- P.25 主要事業の概況
- P.49 参考資料



26 事業概要及び成長戦略

アドプラットフォーム事業及びパートナーセールス事業を中心に自社メディアなどの
コンシューマー事業を行うことで、広告市場における垂直統合を推進
オーガニックでの成長を原則としながらもM&Aも視野に



27 広告関連のプロダクト/サービス



広告主
広告会社



メディア

DSP / アドネットワーク



スマートフォン特化型
CPC型アドネットワーク



ブランド広告主向け
アドプラットフォーム

Perfect View™
Network

ブランド広告主向け
スマートフォン
動画アドネットワーク

SSP



メディア向け収益最大化を
支援するSSP

PMP



音声コンテンツ媒体への
音声広告配信サービス



プレミアム媒体/コンテンツ面への
インストリーム運用型広告サービス

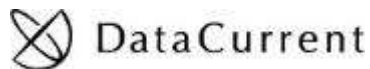


プレミアム媒体/広告枠への
広告配信を実現するPMP



280以上のプレミアム媒体社が
参画するPMP

DMP



4億ユニークブラウザ、
1億モバイル広告IDのデータを保有・分析

3PAS



ビデオ等広告テンプレート
クリエイティブ配信・管理

アフィリエイト



スマートフォン特化型
CPI/CPA広告ネットワーク

デジタルサイネージ



美容室に特化した
デジタルサイネージ放送局

メディア向けツール



広告在庫資産
運用サービス

情報サービス



インターネット
メディア広告情報



ソーシャルリスニング

PARTNER SALES

パートナーセールス事業



広告主
広告会社

広告主・広告会社向けサービス

マーケティング活動に必要な機能
(部署・リソース) をニーズに合わせて提供

メディアプランニング

メディアバイイング

クリエイティブ制作

入稿オペレーション

運用コンサルティング

運用オペレーション

分析レポート

媒体社向け総合支援サービス

1,500以上のメディアを取扱い
媒体社ごとに最適な形で各種サービスをカスタマイズし、課題解決に向けた柔軟な取り組みが可能

CCI MEDIA DOCK

流入施策・サイト改善

広告商品開発

収益最大化

業務支援

コンテンツ開発



メディア

データコンサルティングサービス



プライベートDMP



プランニング
広告出稿



効果検証



データ利用



総合的なデータ解析

最適な基盤システムの構築、
機械学習や深層学習を
活用したデータ解析、
データを活用した
マーケティング施策の推進



DataCurrent



プライベートDMP



広告配信



タイアップ
分析レポート



データ収益化



オフラインプライバシー
管理サービス

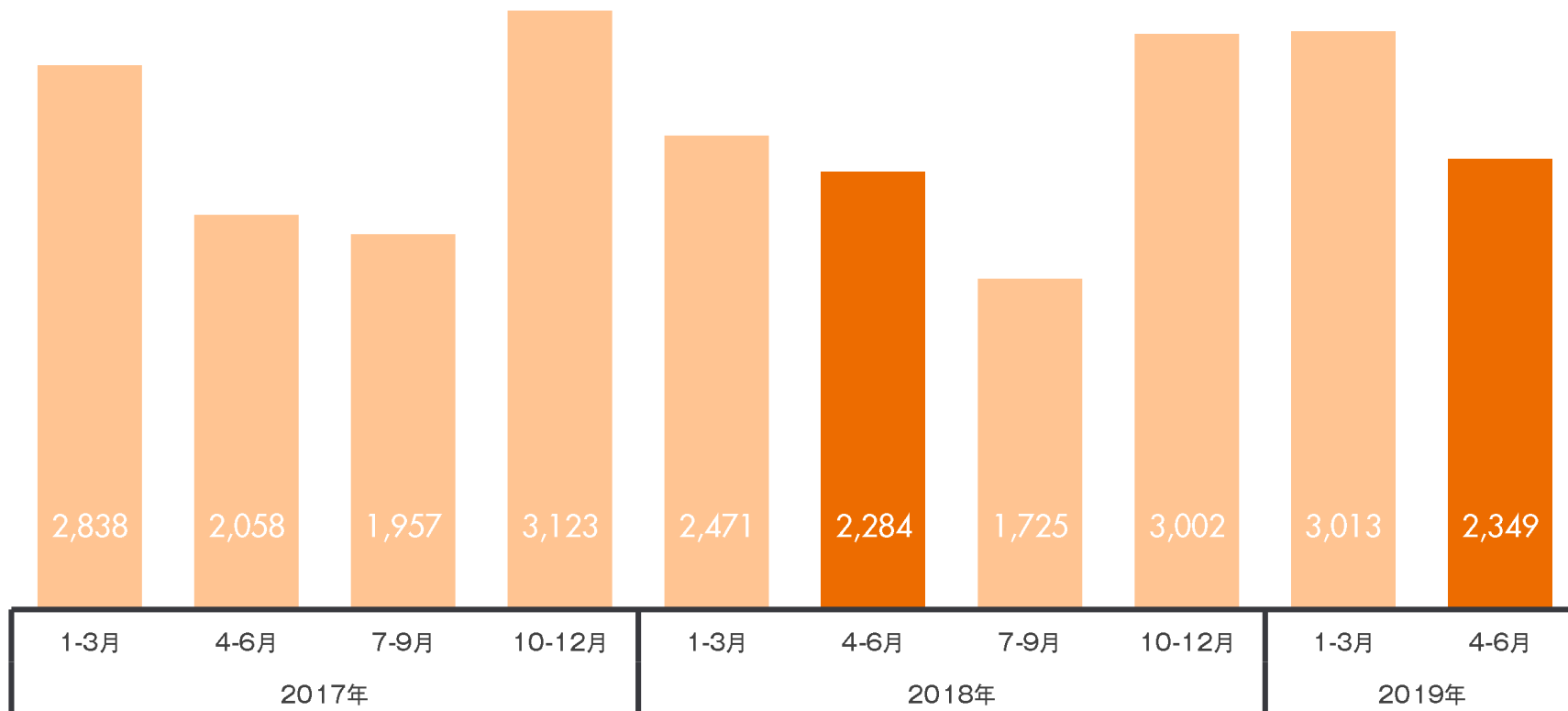


30 パートナーセールス事業売上高 四半期推移

前年同四半期比で2.8%増の23.4億円に

単位：百万円

売上高



※1 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用及びセグメント変更を遡及して反映したCCIの数値（監査対象外）

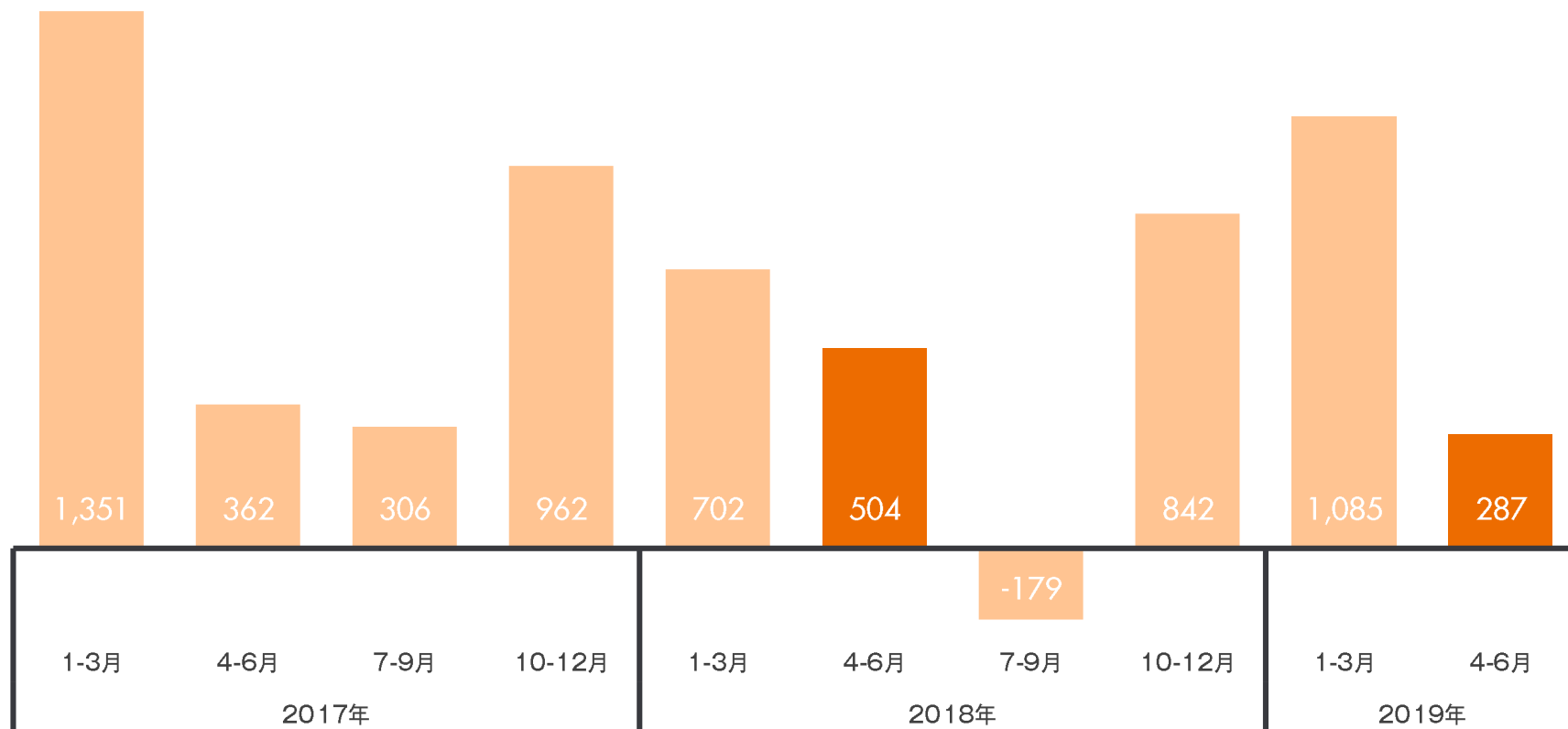
※2 収益認識基準変更の集計方法を見直し期首（2018年10月）に遡って適用したため、2018年10月以降の数値は前回発表分から変動しております

31 パートナーセールス事業営業利益 四半期推移

償却前営業利益※1は前年同四半期比で43.1%減の2.8億円に

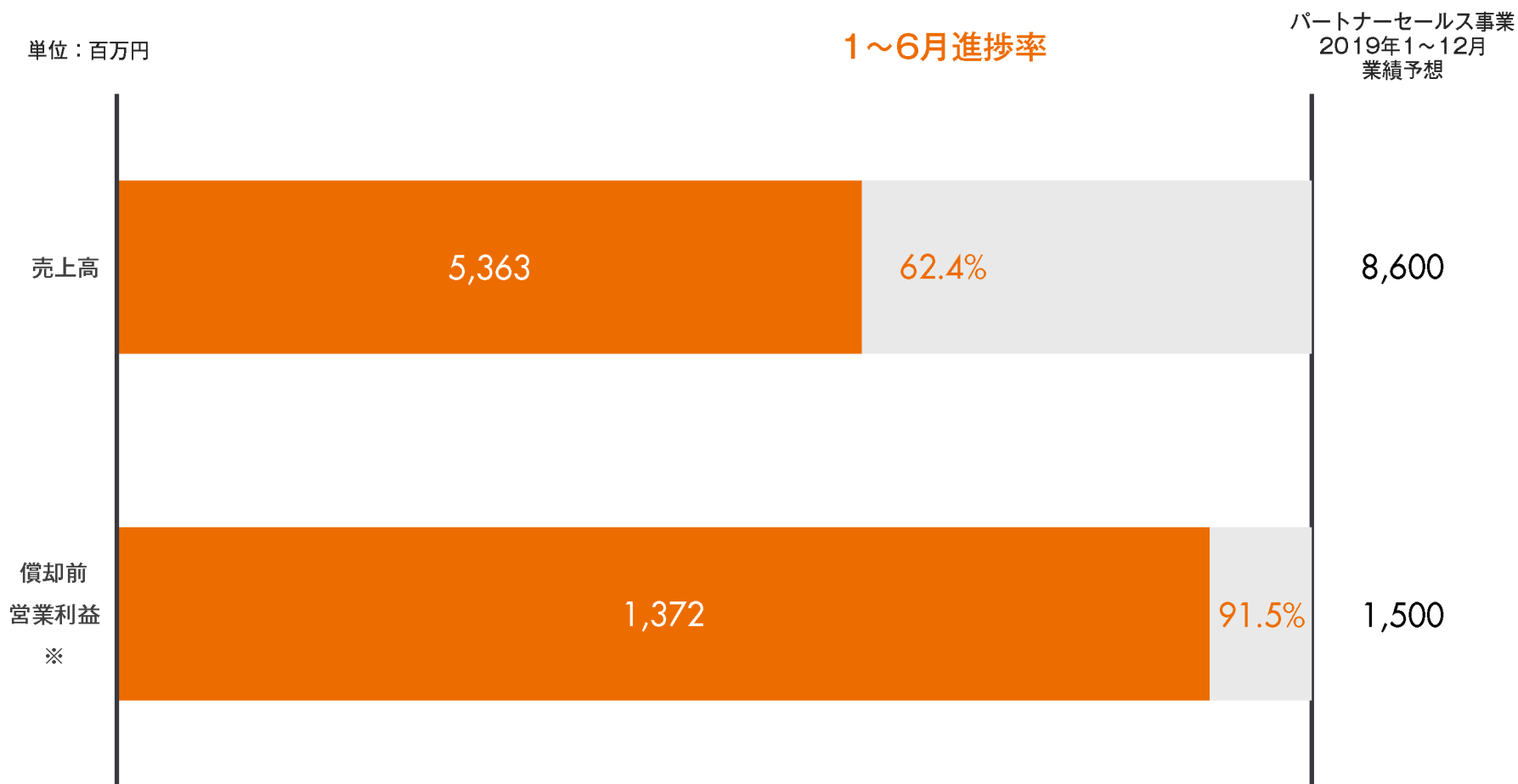
単位：百万円

■ 償却前営業利益



※1 償却前営業利益は、営業利益に経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費を加算した利益。なおパートナーセールス事業においては経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費は発生していない

※2 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用及びセグメント変更を遡及して反映したCCIの数値（監査対象外）



※ 償却前営業利益は、営業利益に経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費を加算した利益

▶ 4月4日

CCI、インフルエンサープロダクション5社と、
若年層向けコンテンツ企画・開発コンソーシアム「ハタアゲ」設立

https://www.cci.co.jp/news/2019_04_04/1-57/

▶ 4月24日

CCIの「DataCurrent」、「LINE Biz-Solutions Partner Program」において、
運用型広告「LINE Ads Platform」の「Data Provider Partner」に認定

https://www.cci.co.jp/news/2019_04_24/1-59/

▶ 5月8日

プレミアムな音声コンテンツを提供する媒体を対象にした音声広告配信サービス
「Premium Audio™広告」の提供を開始

https://www.cci.co.jp/news/2019_05_08/1-60/

▶ 5月9日

CCI、スカパー！契約者のパーソナルデータ流通・活用による情報銀行プラットフォーム
「スカパー！情報銀行」共同研究および実証実験に参加

https://www.cci.co.jp/news/2019_05_09/1-61/

34 主なトピックス

▶ 5月14日

CCI、データ活用推進に特化した専門会社「株式会社DataCurrent」を6月3日付で設立

https://www.cci.co.jp/news/2019_05_14/1-62/

▶ 6月19日

CARTA HOLDINGS、Fringe81社とデジタル広告領域において業務提携

https://cartaholdings.co.jp/news/20190619_1/

▶ 7月18日

東京メトロがCCIのソーシャルリスニングツールを採用

～多様化したお客様のインサイトの収集、分析をサポート～

https://www.cci.co.jp/news/2019_07_18/01-7/

▶ 8月2日

CCIの「DataCurrent」、ゼンリンデータコム提供の緯度経度情報ベースのセグメント取り扱いを開始

https://www.cci.co.jp/news/2019_08_02/1-63/

AD PLATFORM

アドプラットフォーム事業

36 アドプラットフォーム事業

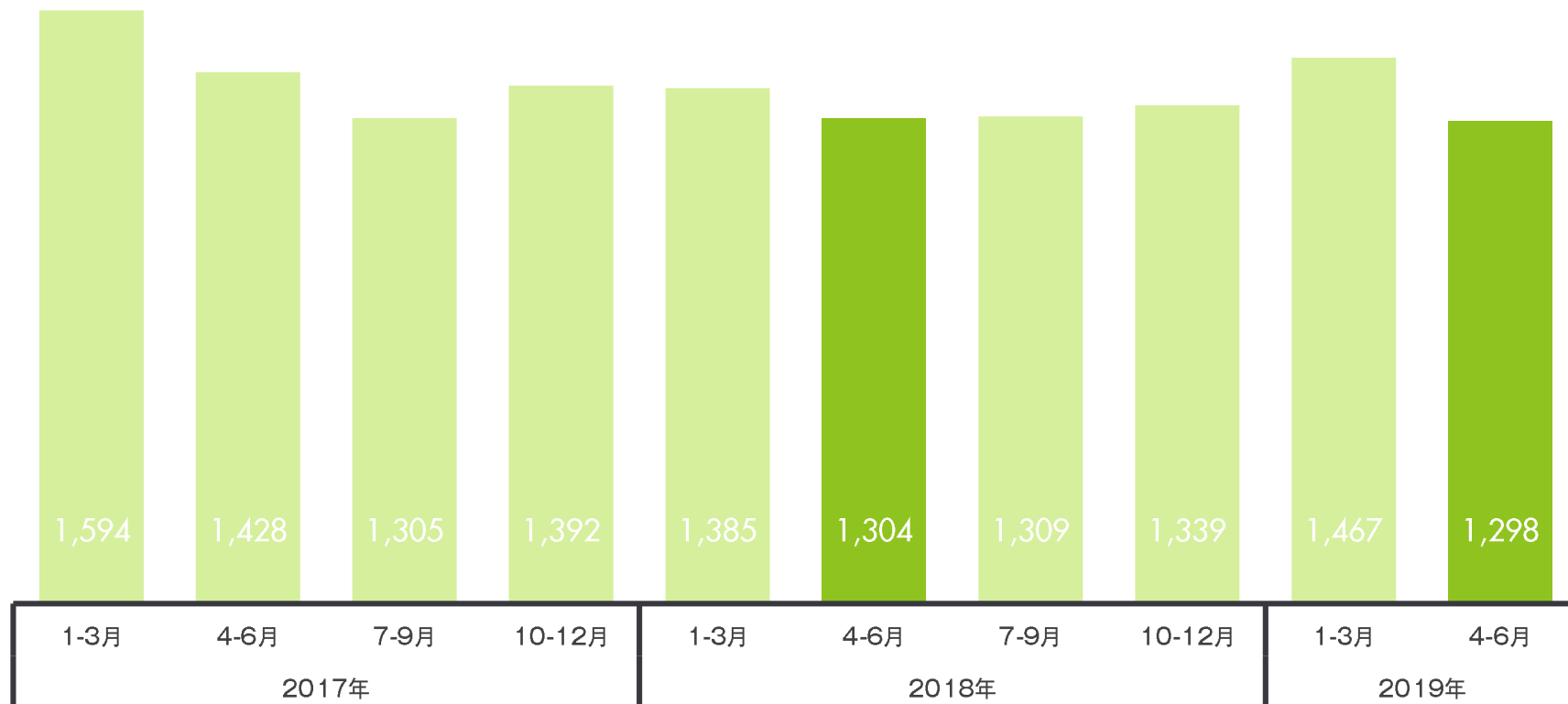


37 アドプラットフォーム事業売上高 四半期推移

前年同四半期比で0.5%減の12.9億円に

単位：百万円

売上高



※1 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用及びセグメント変更を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

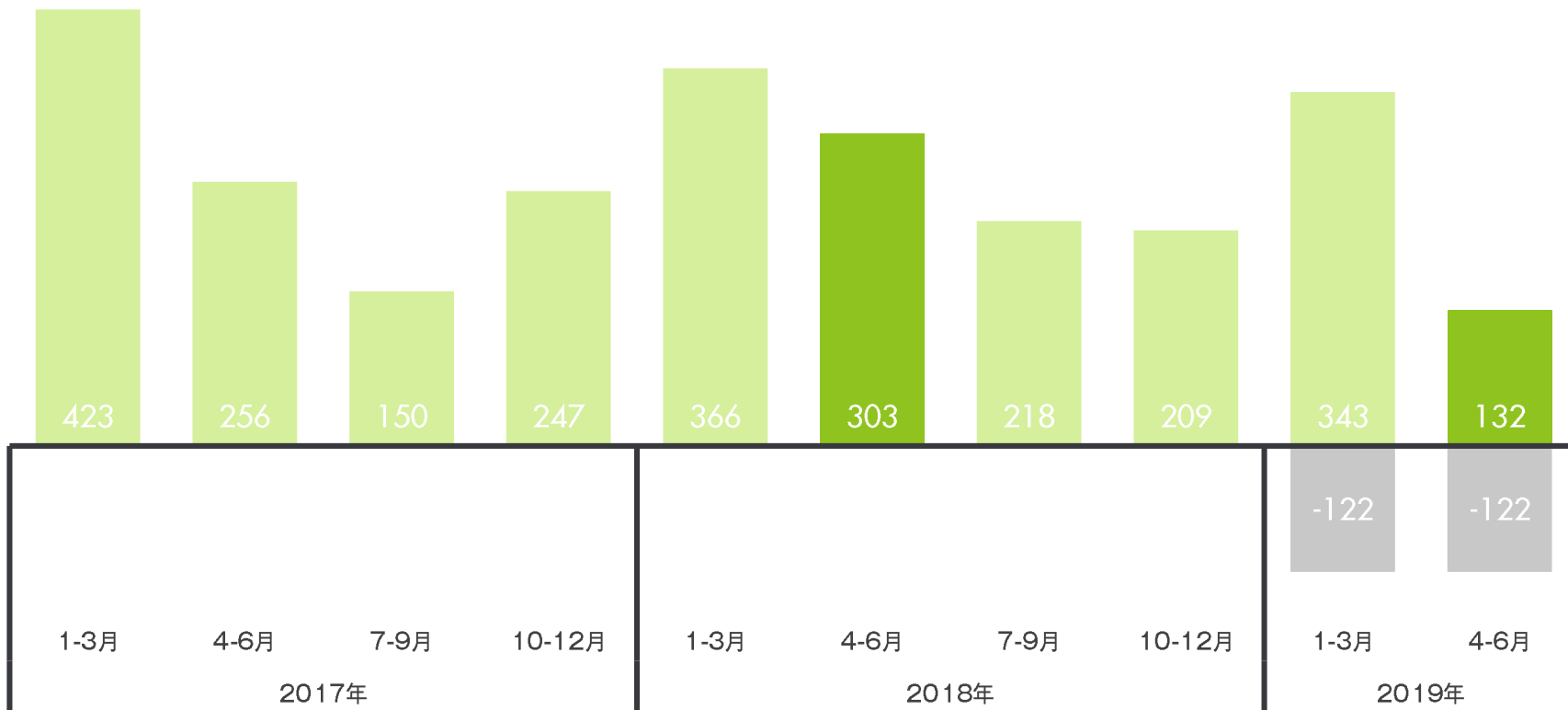
※2 収益認識基準変更の集計方法を見直し期首（2018年10月）に遡って適用したため、2018年10月以降の数値は前回発表分から変動しております

38 アドプラットフォーム事業営業利益 四半期推移

償却前営業利益※1は前年同四半期比で56.4%減の1.3億円に

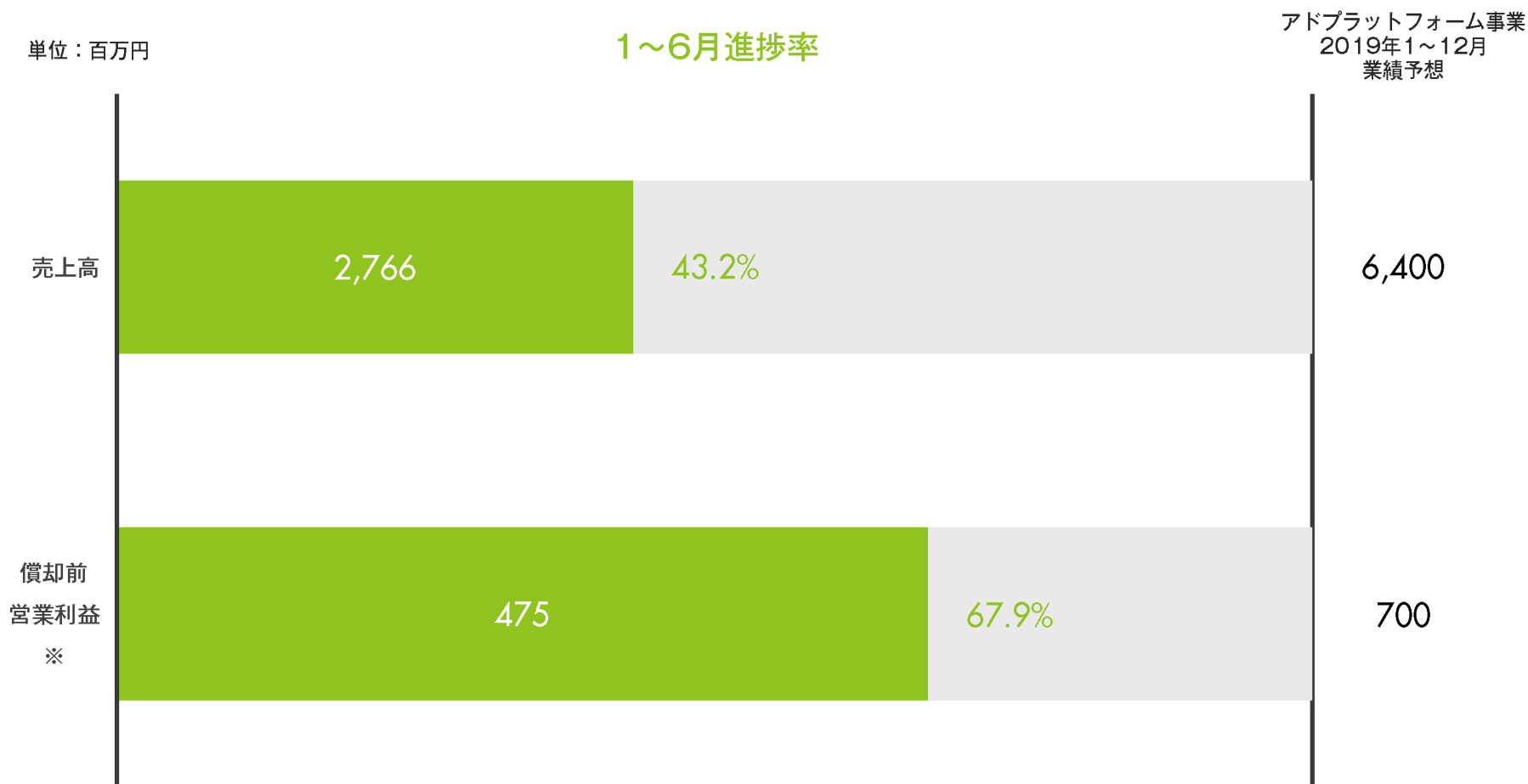
単位：百万円

■ 償却前営業利益 ■ 経営統合に伴うアドプラットフォーム事業の無形資産及びのれんの償却費



※1 償却前営業利益は、営業利益に経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費を加算した利益

※2 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用及びセグメント変更を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）



※ 償却前営業利益は、営業利益に経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費を加算した利益

▶ 4月19日

ブランド広告向けアドプラットフォーム「PORTO」をリリース
多様なディスプレイフォーマットへの対応や、VOYAGE GROUPが保有する独自データの活用、
オンラインメディアの計測カスタマイズなどが可能

https://voyagegroup.com/news/press/01_20190419_01/

▶ 5月8日

ブランド広告向けアドプラットフォーム「PORTO」に、オーディオ広告配信機能を拡充し、
「radiko」「Spotify」へオーディオ広告のプログラマティック配信を順次開始

https://voyagegroup.com/news/press/01_20190508_01/

▶ 6月5日

SSP「fluct」、スマホアプリ向け動画リワード広告にて「Mintegral」とメディエーション接続開始
～動画リワード広告配信量が拡充し、収益最大化を強化。配信比率の自動最適化も可能～

https://voyagegroup.com/news/press/01_20190605_01/

CONSUMER

コンシューマー事業

メディア



会員数600万人を超える
ポイントサイト「ECナビ」の
企画・運営



170万人のアンケートモニターを抱え
「リサーチパネル」の
企画・運営



ポイント交換プラットフォーム
「PeX」の企画・運営



子育てママのための
無料プリント整理アプリ



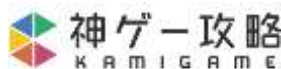
iPhone/iPadアプリを
比較・検討できるサイト



国内最大の
無料辞典サイト



マンガ・アニメ
百科事典サイト



ゲーム総合メディア



犬種特化型
ペットメディアの企画・運営



学生向け旅行メディア

HR・ゲーム・ECなど



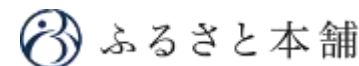
キャリア支援事業



海外のスマートフォン向けゲームの
パブリッシング・マーケティング事業



通販化粧品「ViTAKT」の
企画・販売



ふるさと納税サイト
「ふるさと本舗」の企画・運営



家事支援サービス
「カジタク」のネット販売事業



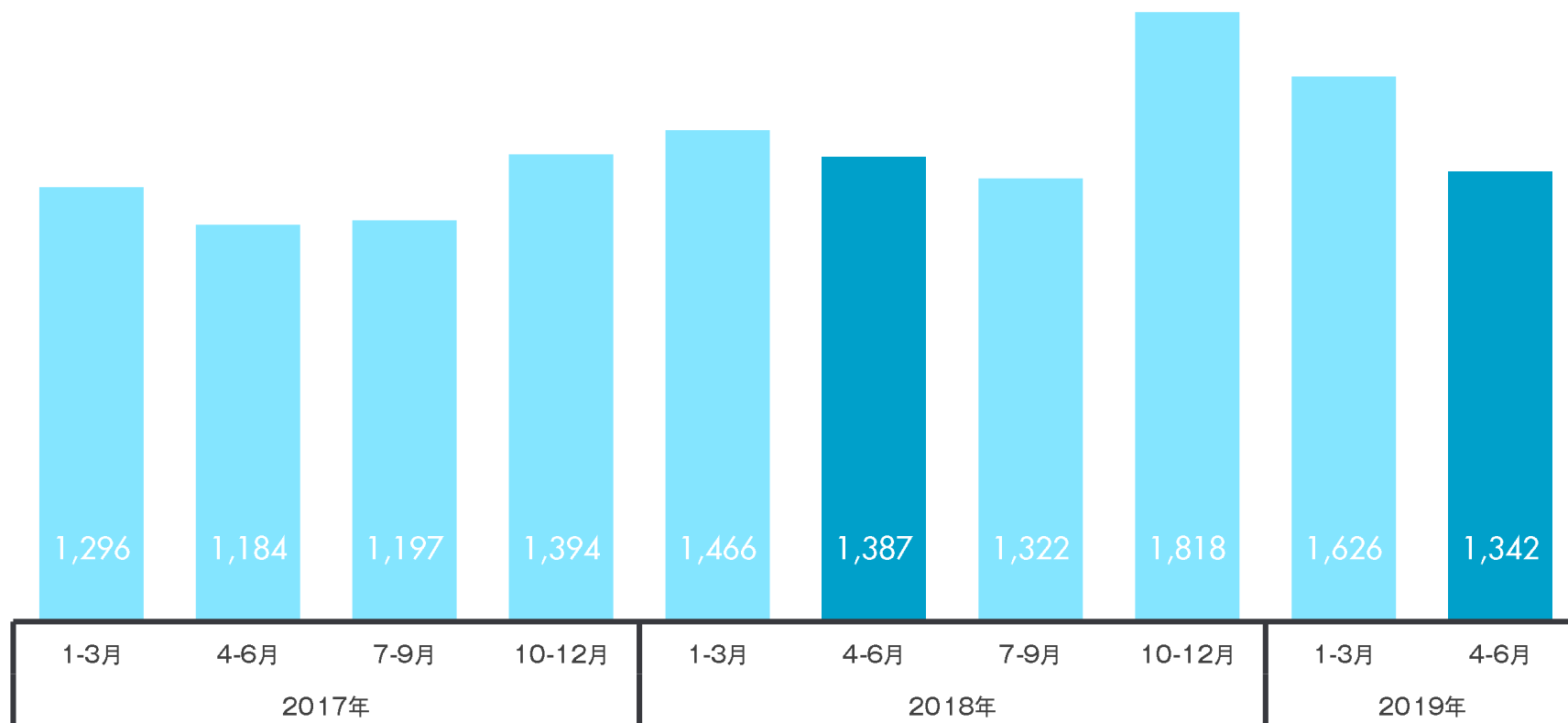
未上場インターネット関連
ベンチャー企業への投資

43 コンシューマー事業売上高 四半期推移

前年同四半期比で3.3%減の13.4億円に

単位：百万円

売上高



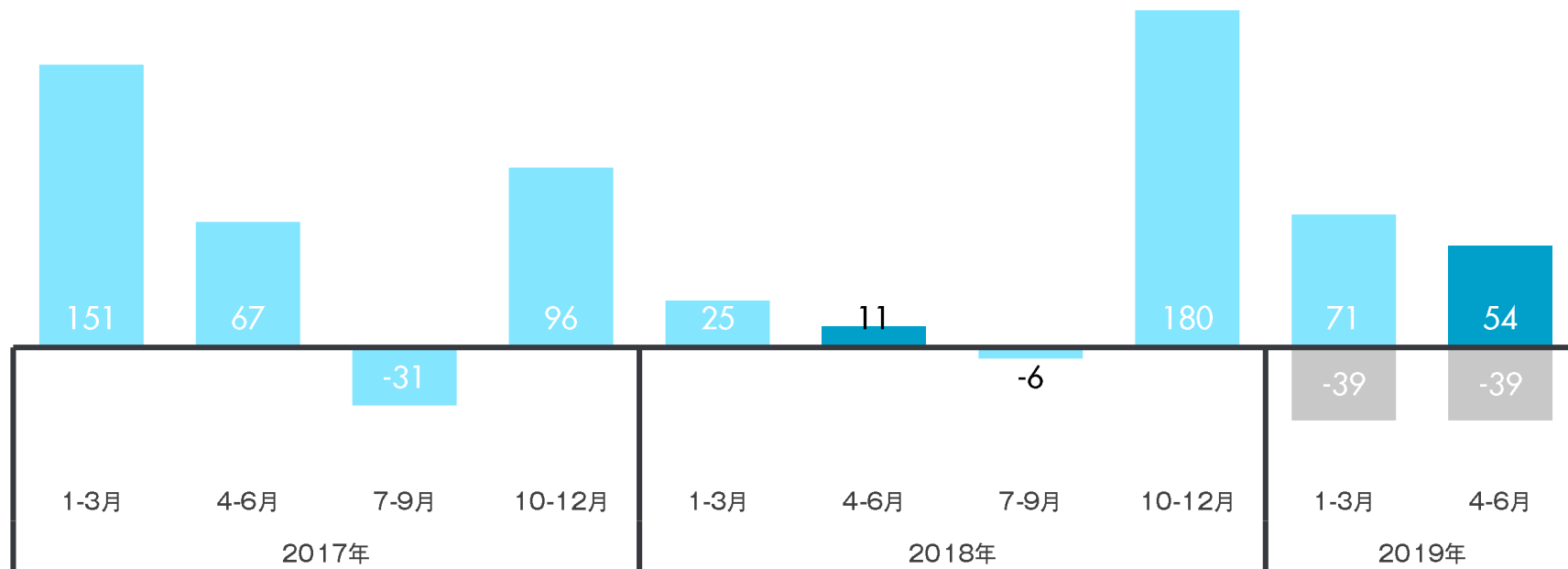
※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用及びセグメント変更を遡及して反映したVOYAGE GROUPの数値（監査対象外）

44 コンシューマー事業営業利益 四半期推移

償却前営業利益※1は前年同四半期比で約4.7倍の0.5億円に

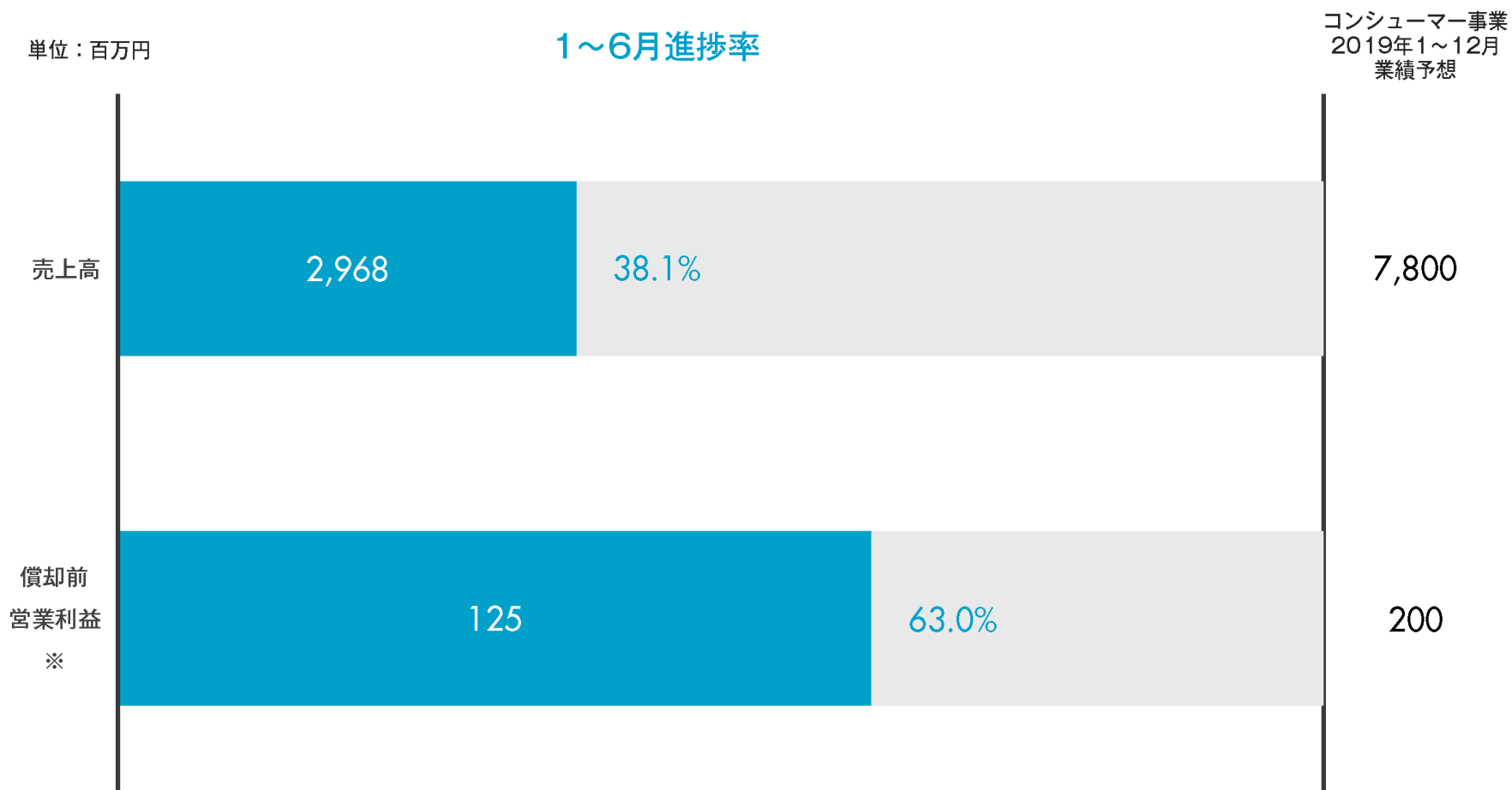
単位：百万円

■ 償却前営業利益 ■ 経営統合に伴うコンシューマー事業の無形資産及びのれんの償却費



※1 償却前営業利益は、営業利益に経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費を加算した利益

※2 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準の早期適用及びセグメント変更を遡及して反映したVOYAGE GROUPの数値（監査対象外）



※ 償却前営業利益は、営業利益に経営統合に伴う無形資産及びのれんの償却費を加算した利益

46 rakanu社について

ペットメディア事業を展開するrakanu社を7月1日付で完全子会社化
広告主ニーズの高い優良なメディアを強化し、CARTAとしての垂直統合を推進



2016年に犬種に特化したペットメディアとして「FRENCH BULLDOG LIFE」（フレンチブルドッグライフ）をスタート。また、「SHIBA-INU LIFE」（柴犬ライフ）や「Retriever Life」（レトリバーライフ）と、他犬種のメディアも展開し、順調に各規模を拡大。良質な記事コンテンツやエンゲージメントの高いユーザーを持つペットメディアを運営しています。

47 主なトピックス

▶ 4月9日

子供のプリント整理アプリ「ポスリー」10万ダウンロード突破！

https://voyagegroup.com/news/press/01_20190409_01/

▶ 4月25日

カジタクオンラインショップ、ハウスクリーニング予約の訪問日時が30分区切りで選択可能に
～待ち時間の無駄を省き、8時から20時まで、希望する時間帯にピンポイントで予約可能！～

https://voyagegroup.com/news/press/01_20190425_01/

▶ 4月25日

cosoral、参画する子育てTech委員会にて、高島屋開催の「夏の赤ちゃんフェア」に出展
～平成最後の日曜は、テクノロジーを使った未来の子育て体験を～

https://voyagegroup.com/news/press/01_20190425_02/

▶ 6月20日

VOYAGE GROUP、ペットメディア事業を展開するrakanu社を完全子会社化
～CARTA HDとしてコンシューマー事業を強化し、垂直統合を推進～

https://voyagegroup.com/news/press/01_20190620_01/

▶ 7月1日

ECナビで1年間で最もポイントを貯めたユーザーは約2,424万ポイント獲得！ポイ活年間報告発表
～みんなのポイ活総額は100億ポイント以上！7月1日より、ポイ活の日キャンペーンを開催～
https://voyagegroup.com/news/press/01_20190701_01/

▶ 7月3日

特産品ポータルサイト「ふるさと本舗」、北海道仁木町、秋田県にかほ市、北海道倶知安町の情報を追加
～さくらんぼやお米、天然岩ガキや飛良泉の日本酒、メロンやアスパラガスなどが人気～
https://voyagegroup.com/news/press/01_20190703_01/

▶ 7月16日

ECナビ、アンケートがたくさん届き、スキマ時間にポイ活できるiOSアプリ「ECナビアンケート」の提供開始
～プッシュ通知で忘れずいつでもどこでも手軽にお小遣い稼ぎ～
https://voyagegroup.com/news/press/01_20190716_01/

▶ 7月19日

ポイ活で貯めたPeXポイントで投資を疑似体験できる「PeXポイント投資」、総投資額3億円突破！
～利用者数4万人。女性の利用率も49%と高く、1人あたりの投資ポイント数は約80,000ポイント～
https://voyagegroup.com/news/press/01_20190719_01/

AGENDA

- P.02 会社概要
- P.08 会計上の留意事項
- P.14 2019年12月期
第3四半期連結決算の概要
- P.21 連結業績予想と進捗
- P.25 主要事業の概況
- P.49 参考資料



中期経営計画
「CARTA 2022」
(再掲)

CARTA
HOLDINGS

中期経営計画

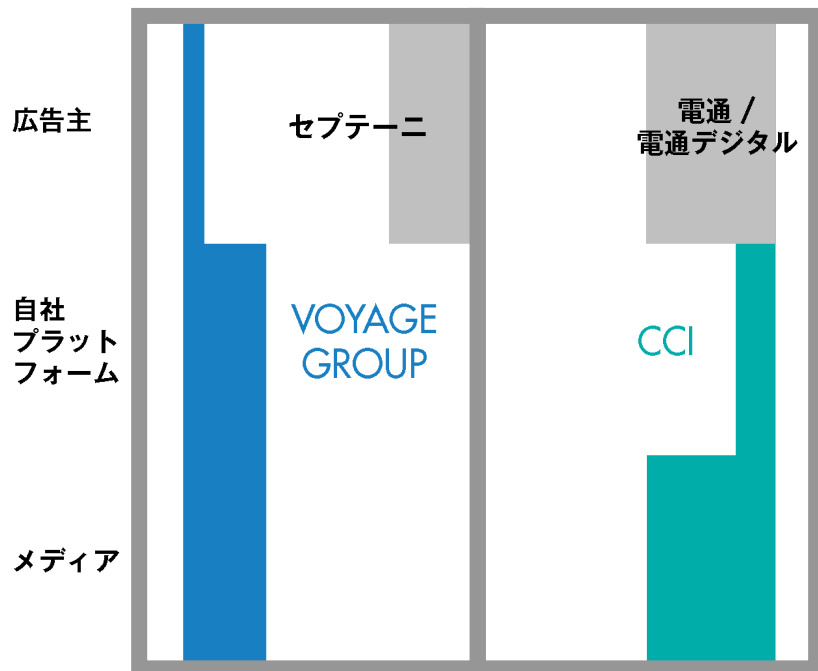
「CARTA 2022」

~NEW JOURNEY, NEW STANDARD~

インターネット広告市場

パフォーマンス広告

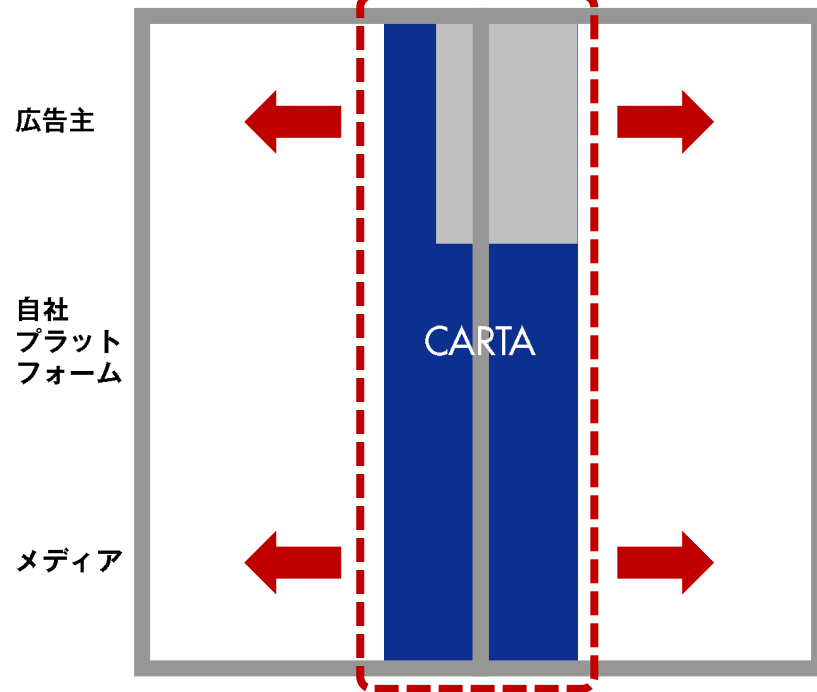
ブランド広告



インターネット広告市場

パフォーマンス広告

ブランド広告



これまで各々で垂直統合と競争優位性の向上を目指してきた。

経営統合によりパフォーマンス広告 / ブランド広告の両市場をカバーする、垂直統合した事業体を確立する。その総合力を武器に自社プラットフォームを強化し、広告主・メディアのシェアを拡大。

53 CARTAの成長シナリオ - Phase2-

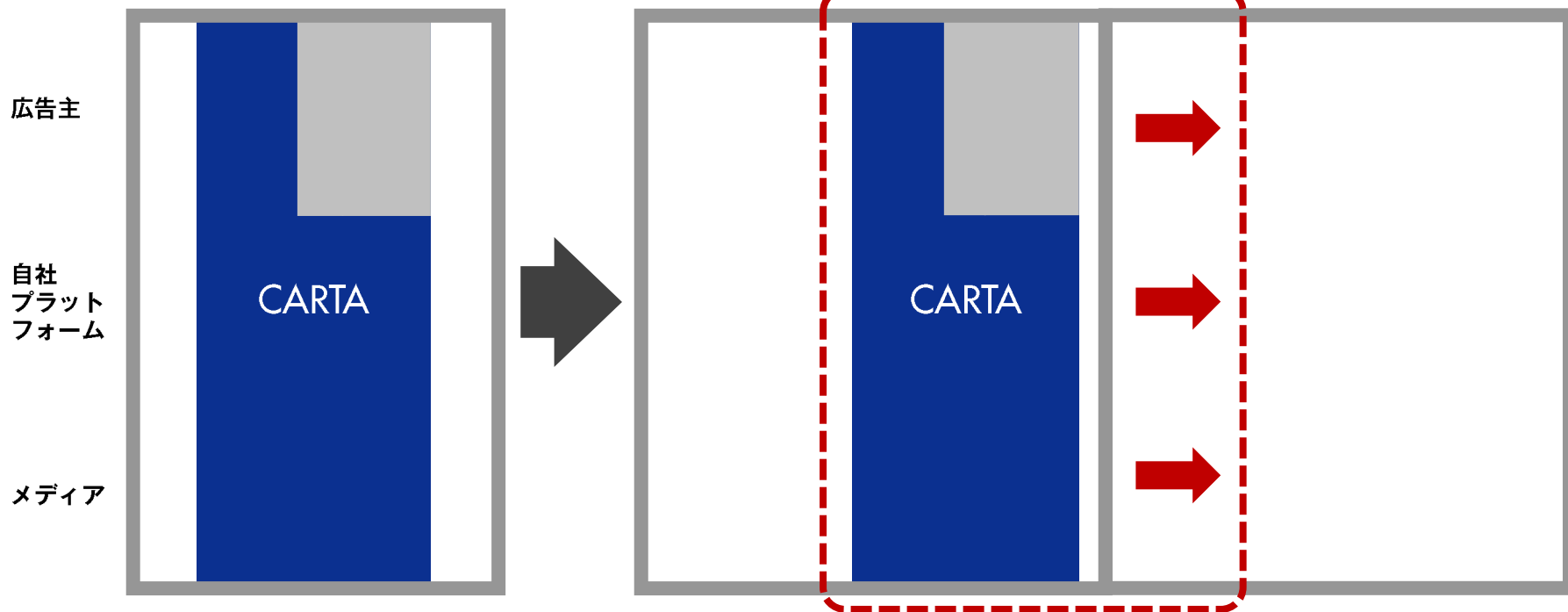
インターネット広告市場

インターネット広告市場

テレビ / OOH広告市場

1.5兆円市場

2.5兆円市場



パフォーマンス広告 / ブランド広告両市場の境界線がなくなっていく中で、インターネット広告領域において総合的な価値提供力が高い状態。

インターネット広告領域での総合力を、急速にデジタル化が進むと予想されるオフライン広告領域に展開し拡張していく。広告産業のデジタルトランスフォーメーションの先導役となる。

54 CARTAの成長シナリオ - Phase3-

インターネット / テレビ / OOH広告市場

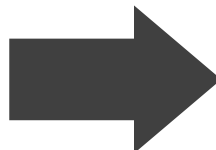
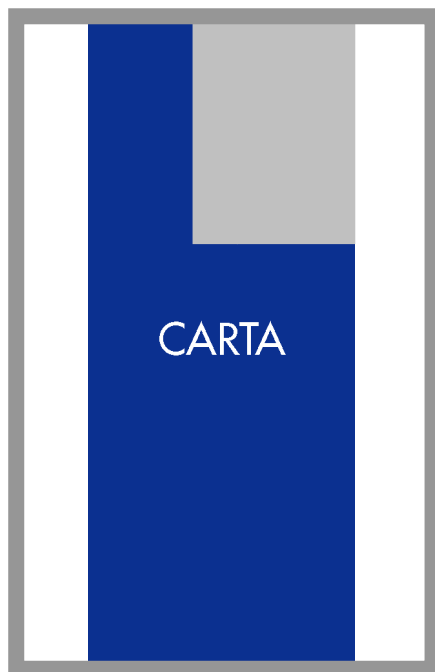
他の産業へ展開

4兆円市場

広告主

自社
プラット
フォーム

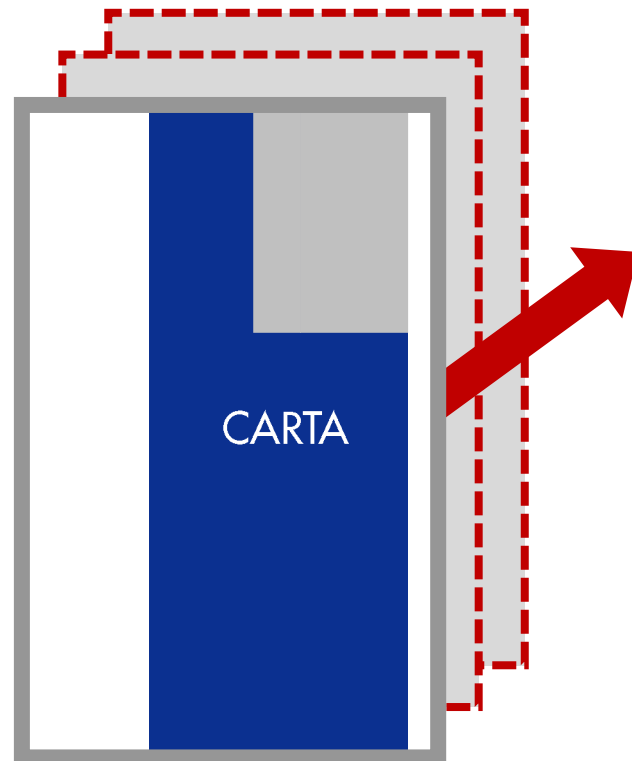
メディア



広告主

自社
プラット
フォーム

メディア

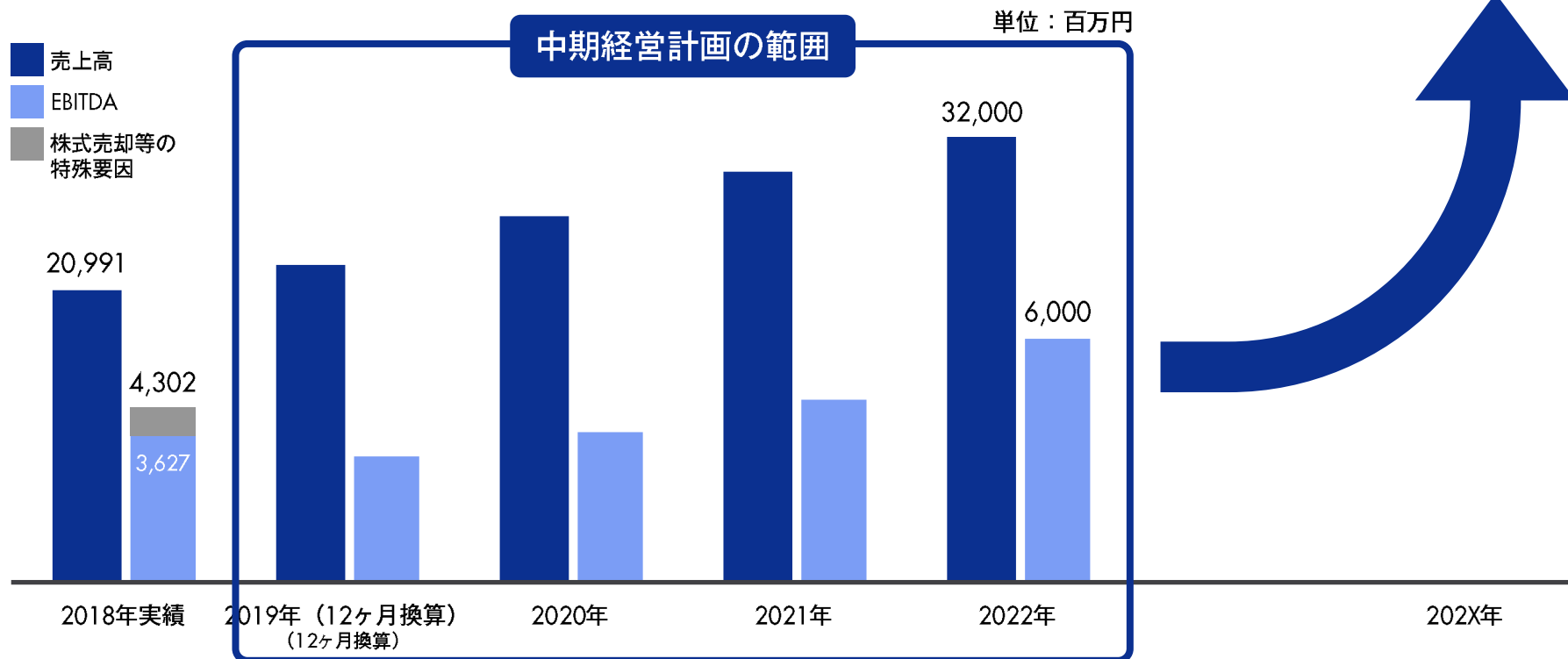


オンライン広告 / オフライン広告の境界線がなくなって
いく中で、広告領域において総合的な価値提供力が高い
状態。

広告領域での総合力を、デジタル化が進む全産業領域に
展開し拡張していく。あらゆる分野のデジタルトランス
フォーメーションの先導役となる。

55 中期経営計画「CARTA2022」の概要

EBITDAを重要指標とし、2022年度で60億円を目指す



重点的な取り組み

1. 事業シナジーの推進
2. 電通グループとの協業推進
3. 経営基盤の強化

成長戦略

1. 既存事業の成長
2. M&Aや投資による成長
3. 新領域への挑戦

飛躍の
ステージへ

※1 各年12月期ベースでの12ヶ月間の数値。2019年度は実際には15ヶ月間の変則決算となります。

※2 2018年実績は、比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

2022年 経営目標

売上 ————— 320 億円

EBITDA[※] ——— 60 億円

ROE ————— 12%

※ EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）＝税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋償却費＋のれん償却費

CARTA
HOLDINGS

CARTA
HOLDINGS

CARTA
HOLDINGS

会社概要



CARTA HOLDINGS

会社名	株式会社CARTA HOLDINGS
設立	1999年10月8日
資本金	1,087百万円（2019年6月末時点）
上場市場	東証第一部（証券コード：3688）
決算期	12月
売上高※1	19,503百万円（2018年1～12月）
従業員数※2	1,149名（2019年6月末時点）

※1 新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

※2 従業員数は臨時雇用者を含まない数値

連結子会社

VOYAGE GROUP

株式会社VOYAGE GROUP

ポイントサイト「ECナビ」等のメディア運営、ブランド広告向けアドプラットフォーム「PORTO」の運営など

CCI
COMMUNICATIONS

株式会社サイバー・コミュニケーションズ

インターネット広告及び関連する下記の事業
・広告の提案、企画、制作、運営
・広告スペースの購入、販売

fluct

株式会社fluct

媒体社向けアドプラットフォーム「fluct」の運営

Zucks

株式会社Zucks

スマートフォン向けアドプラットフォーム「Zucks」の運営

CMerTV

株式会社CMerTV

動画アドプラットフォーム「CMerTV」の運営



DataCurrent

株式会社DataCurrent

データ活用推進
コンサルティング業務

リサーチパネル

株式会社リサーチパネル

アンケートモニターサイト「リサーチパネル」の運営

VOYAGE MARKETING

株式会社VOYAGE MARKETING

ポイント交換プラットフォーム「PeX」の運営、ポイントソリューション事業

rakanu

rakanu株式会社

犬種特化型のペットメディア事業

Lighthouse Studio

株式会社VOYAGE Lighthouse Studio

「神ゲー攻略」等のメディア運営



VOYAGE GAMES

株式会社VOYAGE GAMES

ゲームマーケティング事業

Anchor

株式会社Anchor

デジタルマーケティング支援事業

サポーターズ

株式会社サポーターズ

キャリア支援事業

VOYAGE NEXUS

株式会社VOYAGE NEXUS

家事支援サービス「カジタク」のネット販売事業

ふるさと本舗

株式会社ふるさと本舗

ふるさと納税サイト「ふるさと本舗」の運営

ZENOSIS

株式会社ゼノシス

通販化粧品「ViTAKT」の企画・販売

VOYAGE VENTURES

株式会社VOYAGE VENTURES

未上場インターネット関連ベンチャー企業への投資

持分法適用関連会社

G-POT

株式会社C-POT

出版社コンテンツを活用した事業開発

株式会社 ドウ・ハウス
HANA NETWORK SOCIETY

株式会社ドウ・ハウス

クチコミプロモーション及びリサーチのサービス提供

Marketing Applications

株式会社マーケティングアプリケーションズ

オンラインマーケティングリサーチ事業

Media Mague

株式会社メディア・ヴァーグ

「乗りものニュース」等のメディア運営

VENTENY

VENTENY PTE. LTD.

新興国における従業員向けレンディングサービス事業

SELVAS M

SelvasM. Inc.

海外向けモバイルゲーム事業

CoinOn

コインオン株式会社

仮想通貨レンディングサービス「CoinOn」の運営

60 連結損益計算書

(単位：百万円)		2018年4～6月※1	2019年4～6月	前年同四半期比
売上高		2,507	4,889	+95.0%
売上総利益		2,038	4,356	+113.7%
販売管理費		1,742	4,043	+134.5%
営業利益		314	312	-0.5%
	営業外収益	0	25	42.5倍
	営業外費用	19	28	+49.0%
経常利益		295	309	+4.6%
	特別利益	※3 550	0	-100.0%
	特別損失	13	※4 245	18.0倍
税金等調整前当期純利益		832	63	-92.3%
親会社株主に帰属する当期純利益		530	48	-90.9%
EBITDA※2		980	379	-61.3%

※1 新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPの数値（監査対象外）

※2 EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）＝税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋償却費＋のれん償却費

※3 投資先のIPOに伴う株式売却益、投資先ファンドからの出資分配金の受取等

※4 VOYAGE GROUPの本社移転費用等

61 連結貸借対照表

	2018年9月期※1 2018年9月末	2019年12月期 第3四半期 2019年6月末	前期末差額
(単位：百万円)			
流動資産	10,538	31,379	+20,841
うち現金及び預金	5,679	14,320	+8,640
固定資産	6,256	14,099	+7,843
総 資 産	16,794	45,479	+28,684
流動負債	7,158	20,980	+13,821
うちポイント引当金	2,837	※2 458	-2,379
固定負債	858	1,634	+776
純 資 産	8,777	22,863	+14,086
負債及び純資産	16,794	45,479	+28,684
(参考) ネットキャッシュ	4,690	13,584	+8,893

※1 2018年9月期はVOYAGE GROUPの数値

※2 新収益認識基準の早期適用に伴い、従来「ポイント引当金」として計上していたVOYAGE MARKETING社のポイント預り金を「預り金」として計上

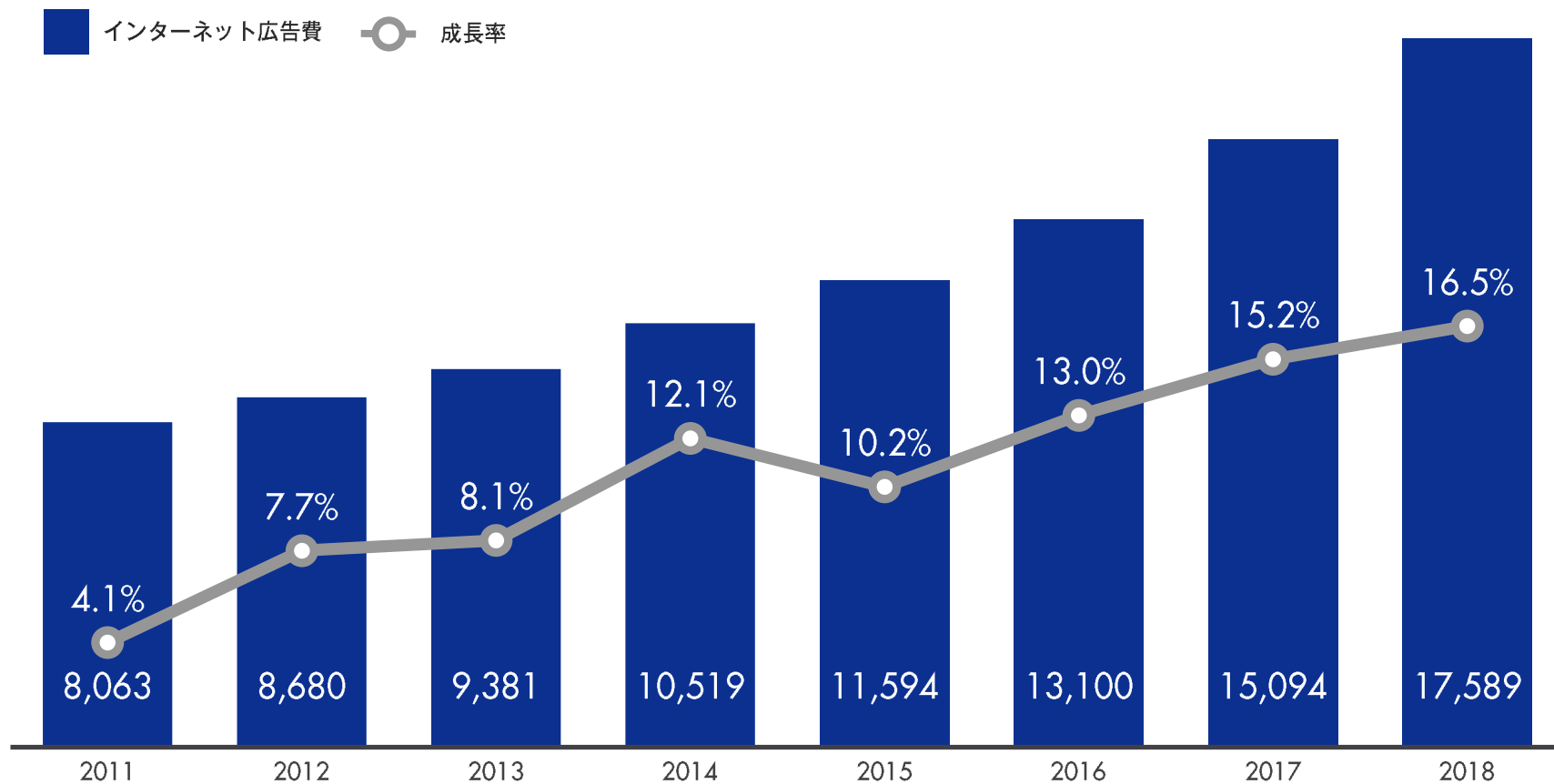
VOYAGE
GROUP

市場環境

63 参考資料：国内インターネット広告費推移

国内インターネット広告市場は順調に拡大
2018年は前年比16%増の1兆7,589億円に

単位：億円

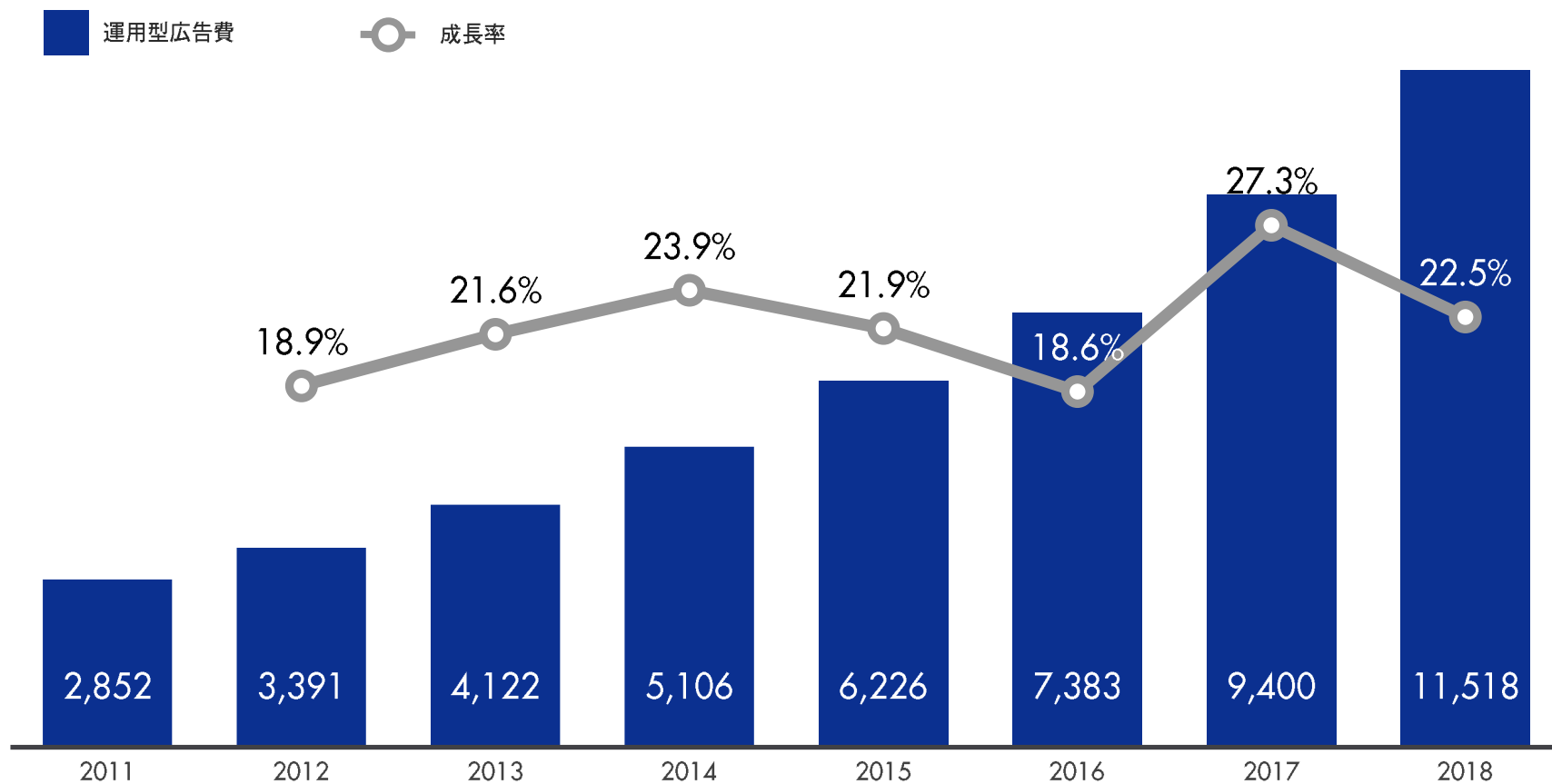


出所：株式会社電通「2018年 日本の広告費」より

64 参考資料：運用型広告費推移

2018年の運用型広告費は前年比22.5%増
初めて1兆円を超えた

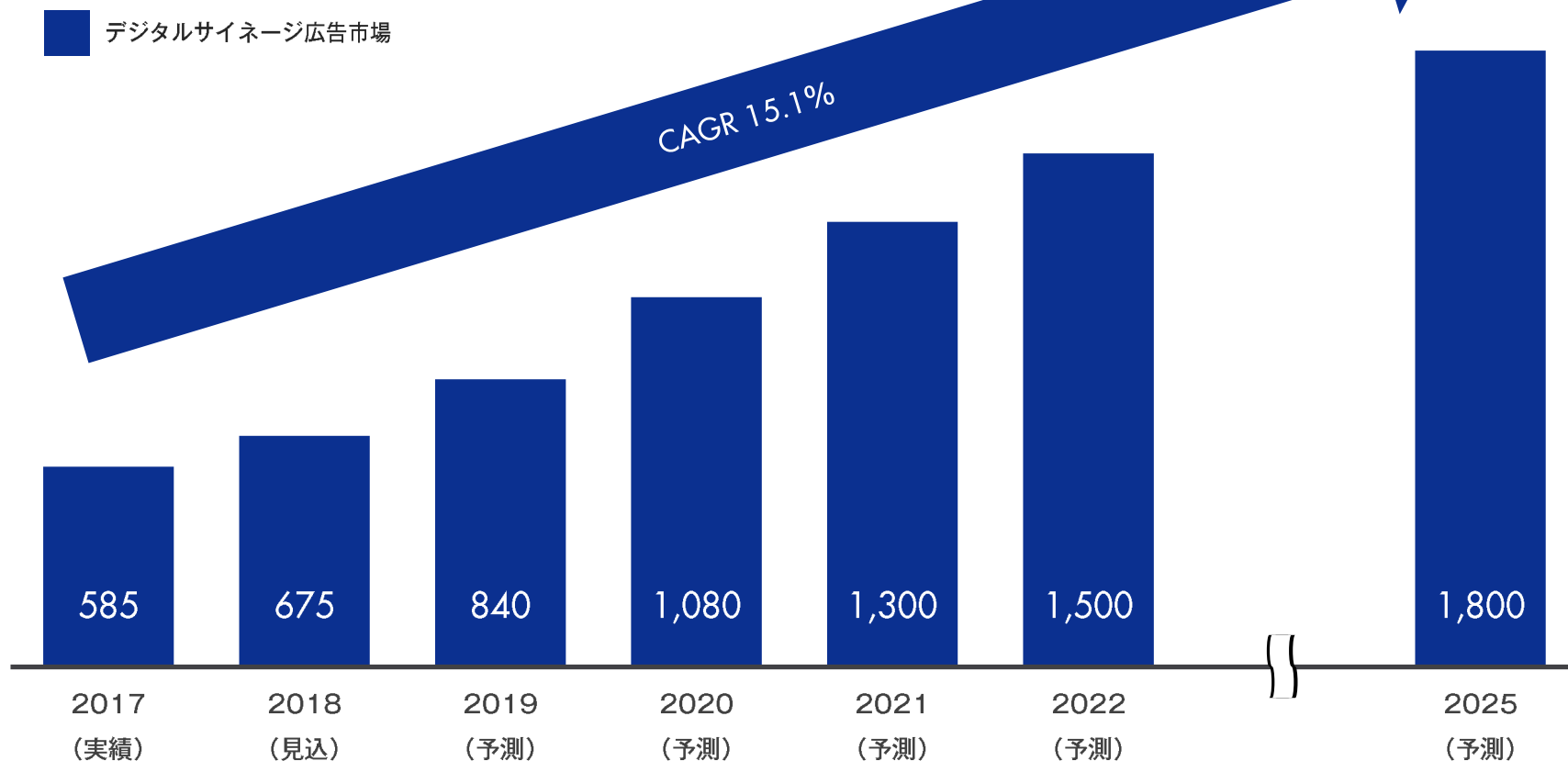
単位：億円



出所：株式会社電通「2018年 日本の広告費」より

デジタルサイネージ広告市場は高い成長率が続く

単位：億円



本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

また、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報、並びに財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれていることをご承知おきください。